

## Ⅱ.開講科目

# 1. 平成29年度 開講科目（昼間コース）

※平成29年度の開講科目は、以下の通りです。  
 ※修正・変更がある場合がありますので、掲示を確認してください。

## 昼間コース

- (1) 共通科目
- ア 基礎科目

系	授業科目	単位数	配当年次	実施期間	時間割	担当者	備考
人間と文化	哲学	2	I	前期	月 5	久保田顕二	
	論理学	2	I				非開講
	倫理学	2	I	後期	月 3	久保田顕二	A
				後期	月 5	久保田顕二	B
	宗教学	2	I				非開講
	心理学Ⅰ	2	I	前期	A: 金3/B: 金4	杉山成	A・B
	心理学Ⅱ	2	I	後期	A: 金3/B: 金4	杉山成	A・B
	教育学	2	I				非開講
	日本文学Ⅰ	2	I	前期	A: 水2/B: 水3	中村史	A・B
	日本文学Ⅱ	2	I	前期	月 5	中村史	
	外国文学Ⅰ	2	I	後期	金 1	△杉村泰教	a
				後期	月 5	李賢峻	b
	外国文学Ⅱ	2	I				非開講
	文化論	2	I	前期	月 4	△谷川靖郎	
	言語学	2	I				非開講
	日本語学	2	I	後期	木 4	高野寿子	
	比較日本文化論	2	I	前期	水 2	△山田智久	
	ことばと文化 (注: 言語コミュニケーション論)	2	I	前期	火 3	山田久就	
				後期	木 3	△江口修	a
	外国語コミュニケーションⅠ	2	I	前期	水 1	山田久就	b
後期				水 3	李賢峻	c	
後期				月 3	△杉浦康則	a	
外国語コミュニケーションⅡ	2	I	前期	月 4	石井登	b	
						※1	
社会と人間	科学方法論	2	I	前期	木 4	△佐々木邦子	
	社会科学	2	I				非開講
	歴史学Ⅰ	2	I	前期	水 2	荻野富士夫	
	歴史学Ⅱ	2	I	後期	水 2	荻野富士夫	
	社会思想史Ⅰ	2	I	前期	A: 水3/B: 金4	西永亮	A・B
	社会思想史Ⅱ	2	I	後期	月 5	西永亮	
	政治学Ⅰ	2	I	前期	金 4	△大場崇代	
	政治学Ⅱ	2	I	後期	金 4	△大場崇代	
	社会学Ⅰ	2	I	前期	A: 水2/B: 水3	△宝福則子	A・B
	社会学Ⅱ	2	I	前期	木 3	△宝福則子	
文化人類学	2	I				非開講	
自然と環境	数学Ⅰ	2	I	前期	A: 水1/B: 水2	後藤良彰	A・B
	数学Ⅱ	2	I	後期	月 4	後藤良彰	
	物理学Ⅰ	2	I	前期	A: 月4/B: 金4	杉之原立史	A・B
	物理学Ⅱ	2	I	後期	月 5	杉之原立史	
	化学Ⅰ	2	I	前期	月 5	沼田ゆかり	
	化学Ⅱ	2	I	後期	木 3	沼田ゆかり	
	生物学Ⅰ	2	I	前期	木 3	八木宏樹	
	生物学Ⅱ	2	I	後期	木 3	八木宏樹	
環境科学	2	I				非開講	

系	授業科目	単位数	配当年次	実施期間	時間割	担当者	備考
知(地)の基礎	総合科目Ⅰ	2	Ⅰ	前期	水 1	荻野富士夫・外	a:小樽学
				後期	月 3	佐山 公一・外	b:地域とインターネットメディアのリテラシー
	総合科目Ⅱ	2	Ⅰ	前期	水 3	大津晶	
	総合科目Ⅲ	2	Ⅰ	後期	水 3	深田秀実 大津晶 林松国 才原慶道 阿部孝太郎 外未定	
	基礎数学	2	Ⅰ	前・後	A:火3/B:火3	赤塚広隆	A・B
	基礎ゼミナール	2	Ⅰ	前期	月3/金5	赤塚広隆・外	
	地域活性化システム論	2	Ⅰ	夏季集中		伊藤 一、鈴木 和宏	
	グローバルリズムと地域経済	2	Ⅰ	前期	水 1	江頭 進、後藤 英之	
	地域学	2	Ⅰ	前期	金 3	李濟民 外	
	社会連携実践Ⅰ ※2	2	Ⅰ			大津晶・外	a:ビジネスインターンシップ b: サービス・ラーニング 非開講
	社会連携実践Ⅱ ※2	2	Ⅰ・Ⅱ			大津晶・外	c:プロジェクト・ラーニング応用 a:ビジネスインターンシップ b: サービス・ラーニング 非開講 c:プロジェクト・ラーニング応用
健康科学	生活と健康	2	Ⅰ	前期	A:月5/B:木3	花輪啓一	A・B
	予防の医学	2	Ⅰ	前期	A:火2/B:火3	高橋恭子	A・B
	健康スポーツ a	1	Ⅰ			花輪啓一 中川喜直	
	健康スポーツ b	1	Ⅰ			石崎香理 △細川賢一 △瀧澤一騎	
	健康スポーツ c	1	Ⅱ				
	健康スポーツ d	1	Ⅱ				
	健康スポーツ e (水泳)	1	Ⅰ				非開講
	健康スポーツ f (スキー)	1	Ⅰ	後期	冬季集中	花輪啓一 中川喜直 石崎香理 △岡野五郎 △星野宏司 △吉田充 △塚本未来 外未定	
健康スポーツ g (スキーⅡ)	1	Ⅱ	後期	冬季集中			

(注) 教員名の前の△は、非常勤講師であることを示しています。

(注) A又はB (a又はb) 等の2つ以上にクラスが分かれている場合は、どれか一つのクラスしか履修できません。

(注) 健康スポーツで同じアルファベットの科目 (a1とa2等) は、どれか一つのクラスしか履修できません。

※1 外国事情の単位については、学則第38条の規定に基づく学生の留学における単位互換認定に充てます。

※2 履修方法に注意が必要です。

詳しくは「科目分割および名称変更のある科目についての注意事項」を確認してください。

昼間コース

(1) 共通科目

イ 外国語科目

授業科目	単位数	配当年次	実施期間	時間割	担当者	備考
英語ⅠA	1	I	通年		井上典子 小林敏彦 佐々木香織	
英語ⅠB	1	I	通年		羽村貴史 山本久雄 加奴・ダニロ	
英語ⅠC	1	I	通年		クソキ・ジョウ サマシ・ジョウ 杵ノ・マク	
英語ⅠD	1	I	通年		中津川雅宣 △大島稔 △川内裕子	
英語ⅡA1/B1	1	II	通年		△ジエミー・ケフ △鈴木良克 △斎藤京子	
英語ⅡA2/B2	1	II	通年		△ダミアン・ブランチ △ティム・ブランチ △マティン・マフィー	
英語ⅡA3	1	II	通年		△イアン・マヒ △ロー・グ △平田	
英語ⅡA4	1	II	通年			
ドイツ語Ⅰ-1	2	I	前期	火1/木1	鈴木将史 副島美由紀	
ドイツ語Ⅰ-2	2	I	後期	火1/木1	△神久聡 △杉浦康則	
ドイツ語ⅡA-1	2	II	前期	火2/木2	△佐藤和枝 △梅津真	
ドイツ語ⅡA-2	2	II	後期	火2/木2		
ドイツ語ⅡB-1	1	II	前期	火2/木2		
ドイツ語ⅡB-2	1	II	後期	火2/木2		
フランス語Ⅰ-1	2	I	前期	火1/木1	尾形弘人 △江口修	
フランス語Ⅰ-2	2	I	後期	火1/木1	△高橋純 △村山紀明	
フランス語ⅡA-1	2	II	前期	火2/木2	△竹内・トリック △ブル・デポリ	
フランス語ⅡA-2	2	II	後期	火2/木2	△小澤卓哉	
フランス語ⅡB-1	1	II	前期	火2/木2		
フランス語ⅡB-2	1	II	後期	火2/木2		
中国語Ⅰ-1	2	I	前期	火1/木1	嘉瀬達男 章天明	
中国語Ⅰ-2	2	I	後期	火1/木1	△谷内哲治 △霜鳥かおり	
中国語ⅡA-1	2	II	前期	火2/木2	△楊志剛 △胡慧君	
中国語ⅡA-2	2	II	後期	火2/木2	△裴崢	
中国語ⅡB-1	1	II	前期	火2/木2		
中国語ⅡB-2	1	II	後期	火2/木2		

授業科目	単位数	配当年次	実施期間	時間割	担当者	備考
スペイン語Ⅰ-1	2	Ⅰ	前期	火1/木1	石井登 △バ'イヤベ'・ガ'イトラ	
スペイン語Ⅰ-2	2	Ⅰ	後期	火1/木1		
スペイン語ⅡA-1	2	Ⅱ	前期	火2/木2		
スペイン語ⅡA-2	2	Ⅱ	後期	火2/木2		
スペイン語ⅡB-1	1	Ⅱ	前期	火2		
スペイン語ⅡB-2	1	Ⅱ	後期	木2		
ロシア語Ⅰ-1	2	Ⅰ	前期	火1/木1	山田久就 △A.B.入'ガ'コフキ-	
ロシア語Ⅰ-2	2	Ⅰ	後期	火1/木1		
ロシア語ⅡA-1	2	Ⅱ	前期	火2/木2		
ロシア語ⅡA-2	2	Ⅱ	後期	火2/木2		
ロシア語ⅡB-1	1	Ⅱ	前期	火2/木2		
ロシア語ⅡB-2	1	Ⅱ	後期	火2/木2		
朝鮮語Ⅰ-1	2	Ⅰ	前期	火1/木1	李賢峻 △韓然善	
朝鮮語Ⅰ-2	2	Ⅰ	後期	火1/木1		
朝鮮語ⅡA-1	2	Ⅱ	前期	火2/木2		
朝鮮語ⅡA-2	2	Ⅱ	後期	火2/木2		
朝鮮語ⅡB-1	1	Ⅱ	前期	火2/木2		
朝鮮語ⅡB-2	1	Ⅱ	後期	火2/木2		

ウ 日本語科目

授業科目	単位数	配当年次	実施期間	時間割	担当者	備考
上級日本語Ⅰ	2	Ⅰ	前期	火1/木1	高野寿子	
上級日本語Ⅱ	2	Ⅰ	後期	火1/木1	高野寿子	
上級日本語Ⅲ	2	Ⅱ	前期	火2/木2	高野寿子	
上級日本語Ⅳ	2	Ⅱ				非開講
日本事情Ⅰ	2	Ⅰ	後期	火2	高野寿子	
日本事情Ⅱ	2	Ⅱ				非開講

昼間コース  
 (2) 学科科目  
 ア 経済学科

系		授業科目	単位数	配当年次	実施期間	時間割	担当者	備考		
基礎経済学	基幹科目	マクロ経済学	4	Ⅱ	後期	月3/水3	山本賢司			
		ミクロ経済学	4	Ⅱ	前期	月3/水3	白田康洋			
		統計学	2	Ⅰ・Ⅱ	前期	金 3	寺坂崇宏	A		
					後期	金 3	田中晋矢	B		
		経済史	2	Ⅱ	前期	金 5	平井進			
	計量経済学	4	Ⅱ	後期	火3/水2	劉慶豊	※1			
	発展科目	現代経済理論Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ					非開講	
		現代経済理論ⅠⅠ	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	火 2	水島淳恵			
		(経済分析論)	4	Ⅱ					非開講	
		数理統計学	2	Ⅲ・Ⅳ					非開講	
		(経済統計学)	4	Ⅲ・Ⅳ					非開講	
		経済データ解析論	4	Ⅲ・Ⅳ	後期	月3/月4	瀬戸篤			
		経済学史	4	Ⅲ・Ⅳ					非開講	
		日本経済史	4	Ⅱ	後期	月 5	△高野宏康			
外国経済史Ⅰ		4	Ⅲ・Ⅳ					非開講		
外国経済史ⅠⅠ	4	Ⅲ・Ⅳ	前期	木1/木2	松家仁					
応用経済学	基幹科目	国際経済学	2	Ⅱ	前期	月2/水2	船津秀樹	※2		
	発展科目	公共経済学	4	Ⅲ・Ⅳ					非開講	
		労働経済学	4	Ⅱ					非開講	
		産業組織論	4	Ⅲ・Ⅳ	前期	水1/水2	中島大輔			
		財政学	4	Ⅲ・Ⅳ	後期	火 2	天野大輔			
						木 2				
		金融論	4	Ⅱ					未定	
		国際金融と世界経済	4	Ⅲ・Ⅳ	前期	金1/金2	廣瀬健一			
		現代ファイナンス理論	4	Ⅱ					未定	
国際貿易理論	2	Ⅲ・Ⅳ	後期	水 3	柴山千里					
国際マクロ経済学	4	Ⅲ・Ⅳ	後期	金1/金2	廣瀬健一					
自由科目	基幹科目	経済数学	2	Ⅱ	前期	金 4	赤塚広隆			
		(経済学と現代)	2	Ⅰ					非開講	
		経済学入門Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	前期	月 4	柴山千里			
	発展科目	経済学入門ⅠⅠ	2	Ⅰ・Ⅱ	後期	月 4	和田良介			
		経済学特別講義	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	水 3	和田良介			
		社会連携実践Ⅲ	2	Ⅱ			大津晶・外	a:ビジネスインターンシップ		
							大津晶・外	b: サービス・ラーニング 非開講 c: プロジェクト・ラーニング応用		
		卒業研究	6	Ⅲ			未定	早期卒業者に限る		
		自由科目	☆日本史	2	Ⅰ	前期	水 5	△吉嶺茂樹		
			☆外国史	2	Ⅰ					非開講
☆地理学	2		Ⅰ	後期	金 6	△金森正郎				
☆法学	2		Ⅰ	前期	木 2	河森計二 外未定				
☆国際法	4	Ⅱ	後期	木3/金4	張博一					
研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ	通年							

(注) 教員名の前の△は、非常勤講師であることを示しています。

(注) A又はB (a又はb) 等の2つ以上にクラスが分かれている場合は、どれか一つのクラスしか履修できません。

(注) 自由科目は教員免許状を修得するための科目で、平成24年度以降の入学生のみ履修可能

※1 平成28年度以前の入学生については、経済学科発展科目としての参入となります。

※2 「国際経済学」の開講期間は、4月～6月上旬となります。詳細はオリエンテーション及び掲示等で確認ください。

昼間コース  
 (2) 学科学目  
 イ 商科学

		授業科目	単位数	配当年次	実施期間	時間割	担当者	備考
商学	基幹科目	流通システム論Ⅰ	2	I・II	前期	木 3	鈴木和宏	
		流通システム論ⅠⅠ	2	II	後期	木 3	△加藤敏文	
		(社会と金融)	2	II	前期	金 4	△大矢繁夫	※1
	発展科目	マーケティング	4	II	前期	月5/火3	近藤公彦	
		貿易論	4	Ⅲ・Ⅳ	前期	金 2	△菅原秀幸	
		マーケティング行動論	4	Ⅲ・Ⅳ				非開講
		チャネル・マネジメント	4	Ⅲ・Ⅳ	後期	金1/金2	猪口純路	
		国際マーケティング	4	Ⅲ・Ⅳ	前期	月5/木3	プラート・カロラス	
		(地域市場システム論)	4	Ⅲ・Ⅳ	前期	金 3	中浜隆・外	※2
		保険論	4	Ⅲ・Ⅳ	後期	火2/火3	中浜隆	
		金融市場論	4	Ⅲ・Ⅳ	後期	月2/月3	齋藤一郎	
		(銀行論)	4	Ⅲ・Ⅳ				非開講
		商学特講	4	Ⅲ・Ⅳ				非開講
		経営学	基幹科目	経営学原理Ⅰ	2	I・II	前期	木 6
経営学原理ⅠⅠ	2			II	前期	木 3	加藤敏太	
経営管理論	4			II	前期	月3/月4	玉井健一	
発展科目	経営史		4	II	前期	火3/金5	高田聡	
	経営学説史		4	Ⅲ・Ⅳ	後期	火 1	西村友幸	
	経営組織論 (組織行動論)		4	Ⅲ・Ⅳ				非開講
	労務管理論		4	Ⅲ・Ⅳ	前期	月2/月4	金鎔基	
	財務管理論		4	Ⅲ・Ⅳ				非開講
	国際経営論		4	Ⅲ・Ⅳ	前期	火1/火2	李濟民	
	環境経営論		4	Ⅲ・Ⅳ				非開講
	中小企業論		4	Ⅲ・Ⅳ				非開講
	経営学特講		2	Ⅲ・Ⅳ	夏季集中		△榎原清則	
	経営戦略論		4	Ⅲ・Ⅳ	後期	金3/金4	内田純一	
	会計学		基幹科目	簿記原理	2	I	後期	A/B:木6
応用簿記		2		II	前期	金 3	市原啓善	
経営と会計		2		II	前期	木 1	旗本智之	
発展科目		財務会計論	4	II	前期	火1/金1	石川業	
		原価計算論	4	II	後期	金3/金4	堺昌彦	
		管理会計論	4	Ⅲ・Ⅳ	後期	月4/木3	上山晋平	
		監査論	4	Ⅲ・Ⅳ				非開講
		国際会計論	4	Ⅲ・Ⅳ	前期	月3/水2	二村雅子	
		組織と会計	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講
		税務会計論	4	Ⅲ・Ⅳ	前期	火3/金1	市原啓善	
会計学特講	2	Ⅲ・Ⅳ			未定			
発展科目	社会連携実践Ⅲ	2	II			大津晶・外	a:ビジネスインターンシップ b: サービス・ラーニング 非開講 c:プロジェクト・ラーニング応用	
	卒業研究	6	Ⅲ			大津晶・外	早期卒業者に限る	

授業科目		単位数	配当年次	実施期間	時間割	担当者	備考
自由科目	☆英作文Ⅰ	2	Ⅰ	前期	月 5	加奴・ダニヲ	※4 ※5
	☆英作文Ⅱ	2	Ⅱ				非開講
	☆英語コミュニケーションⅠ	2	Ⅰ	後期	月 1	杉本・マク	※4
	☆英語コミュニケーションⅡ	2	Ⅱ	前期	金 3	小林敏彦	※4
	☆英語コミュニケーションⅢ	2	Ⅱ				非開講
	☆英語コミュニケーションⅣ	2	Ⅱ				非開講
	☆比較文化Ⅰ	2	Ⅰ	後期	火 3	杉本・マク	※4
	☆比較文化Ⅱ	2	Ⅱ	前期	火 3	佐々木香織	※4
	☆比較文化Ⅲ	2	Ⅱ				非開講
	☆比較文化Ⅳ	2	Ⅱ				非開講
☆職業指導	2	Ⅱ				※4	
研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ	通年				

(注) 教員名の前の△は、非常勤講師であることを示しています。

(注) A又はB (a又はb)等の2つ以上にクラスが分かれている場合は、どれか一つのクラスしか履修できません。

(注) 自由科目は教員免許状を修得するための科目で、平成24年度以降の入学生のみ履修可能

※1 「社会と金融」は平成28年度以前入学生のみ履修可能です。

※2 「地域市場システム論」は平成28年度以前入学生のみ履修可能です。

※3 「経営学原理Ⅰ」及び「簿記原理」は、昼夜開講科目として6講目に関講されます。

※4 平成23年度以前の入学生のみ履修可能。平成24年度以降入学生は自由科目になります。

※5 平成25年度以降の入学生は英作文Ⅰを、平成24年度以前の入学生は英会話・英作文Ⅰを履修してください。

平成25年度以降の入学生は英作文Ⅱを、平成24年度以前の入学生は英会話・英作文Ⅱを履修してください。

昼間コース

(2) 学科学目  
ウ 企業法学科

授業科目		単位数	配当年次	実施期間	時間割	担当者	備考	
基礎法	基幹科目	憲法・基礎Ⅰ	2	I・II	後期	木 2	坂東雄介	
		憲法・基礎Ⅱ	2	II	前期	月 4	坂東雄介	
		行政法Ⅰ	4	III・IV	前期	月5/火2	石黒匡人	
		民法・基礎Ⅰ	2	I・II	後期	水 2	竹村壮太郎	
		民法・基礎Ⅱ	2	II	前期	木 3	岩本尚禧	
		刑法Ⅰ	4	II	前期	月2/火3	菅沼真也子	
		法学	2	I	前期	木 2	河森計二・外	
		憲法Ⅱ	4	II	後期	月2/月3	小倉一志	
		行政法Ⅱ	4	III・IV	後期	水2/木2	齋藤健一郎	
	発展科目	租税法	2	III・IV	後期	水 3	石黒匡人	
		民法Ⅱ	4	II	後期	月5/木1	橋本伸	
		民法Ⅲ	4	III・IV	前期	火1/木2	岩本尚禧	
		民法Ⅳ	2	III・IV	後期	金 5	竹村壮太郎	
		刑法Ⅱ	2	III・IV				非開講
		国際法	4	II	後期	木3/金4	張博一	
		国際機構論	2	II	後期	火 3	張博一	
		基礎法特講Ⅰ	2	III・IV	後期	金 2	菅沼真也子	
		基礎法特講Ⅱ	2	III・IV				非開講
		商法Ⅰ	4	II	前期	水2/木1	河森計二	
企業法	発展科目							
		商法Ⅱ	4	III・IV	前期	月3/火3	多木誠一郎	
		商法Ⅲ	4	III・IV				非開講
		民事手続法	4	II	前期	水 4	△山木戸勇一郎	
		倒産処理法	2	III・IV				非開講
		経済法	4	III・IV	前期	水3/金3	△姜連甲	
		知的財産法	4	III・IV	後期	火2/金3	才原慶道	
		労働法	4	III・IV	後期	月4/木3	國武英生	
		社会保険法	4	III・IV	前期	水1/木3	片桐由喜	
		国際経済法	4	III・IV	前期	金2/金4	小林友彦	
		国際取引法	4	III・IV				非開講
		企業法特講Ⅰ	2	III・IV				非開講
		企業法特講Ⅱ	2	III・IV	前期	金 5	小林友彦	
		社会連携実践Ⅲ	2	II		大津晶・外	a:ビジネスインターンシップ b: サービス・ラーニング 非開講	
		卒業研究	6	III		大津晶・外	c:プロジェクト・ラーニング応用 早期卒業者に限る	
自由科目		☆日本史	2	I	前期	水 5	△吉嶺茂樹	
		☆外国史	2	I				非開講
		☆地理学	2	I	後期	金 6	△金森正郎	
		☆経済学入門Ⅰ	2	I・II	前期	月 4	柴山千里	
		☆経済学入門Ⅱ	2	I・II	後期	月 4	和田良介	
☆国際経済学	2	II	前期	月2/水2	船津秀樹			
研究指導	12	III・IV	通年					

(注) 教員名の前の△は、非常勤講師であることを示しています。

(注) 自由科目は教員免許状を修得するための科目で、平成24年度以降の入学生のみ履修可能

昼間コース

(2) 学科科目

工 社会情報学科

		授業科目	単位数	配当年次	実施期間	時間割	担当者	備考	
計画科学	基幹科目	オペレーションズ・リサーチ	2	Ⅱ	前期	火 3	山本 充		
		統計科学	2	Ⅱ	前期	月 3	△後藤 允		
		計画数学Ⅰ	2	Ⅱ	前期	水 2	小泉大城		
		計画数学Ⅱ	2	Ⅱ	後期	火 3	奥田和重		
	発展科目	(応用統計)	2	Ⅲ・Ⅳ					非開講
		社会計画	4	Ⅲ・Ⅳ	前期	月2/木2	大津 晶		
		計画科学	4	Ⅲ・Ⅳ	後期	月2/水2	原口和也		
		意思決定論	4	Ⅲ・Ⅳ	通年	金 4	行方常幸		
組織と情報	基幹科目	経営システム基礎	2	Ⅱ	後期	木 1	平沢尚毅		
		情報システム管理論	2	Ⅱ	後期	月 3	深田秀実		
	発展科目	プロジェクトマネジメント基礎	2	Ⅱ	後期	月 5	平沢尚毅 深田秀実		
		組織コミュニケーション論	2	Ⅱ	後期	金 5	阿部孝太郎		
		デジタルデザイン論	2	Ⅱ	前期	木 1	平沢尚毅		
		システム戦略論	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	月 3	深田秀実		
		組織情報論	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	金 3	阿部孝太郎		
		社会情報論	2	Ⅲ・Ⅳ	後期	火 2	出川 淳		
		情報システム構築論	2	Ⅲ・Ⅳ	後期	木 3	小泉大城		
		実践プロジェクトマネジメント	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	火 3	△山田 菊子		
ビジネスシステム論	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	火 2	出川 淳				
社会と情報	基幹科目	知識科学基礎	2	Ⅱ	前期	月 4	木村 泰知		
		情報処理	4	Ⅱ	前期	金1/金3	沼澤政信 木村 泰知		
	発展科目	情報数理	2	Ⅱ	後期	金 3	沼澤政信		
		認知科学	4	Ⅲ・Ⅳ	後期	木2/金2	佐山公一		
		ソフトウェア科学	4	Ⅲ・Ⅳ	前期	水2/水3	加地太一		
		コンピュータネットワーク論	4	Ⅲ・Ⅳ	前期	金1/夏季	三谷和史		
		情報と職業	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	月 5	△中山由之		
		応用情報論Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	月 4	△後藤 允		
		応用情報論Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講	
社会情報入門	基幹科目	社会情報入門Ⅰ	2	Ⅰ	前期	金 4	佐山公一 木村 泰知	※1	
		社会情報入門Ⅱ	2	Ⅰ・Ⅱ	後期	金 4	加地太一 大津 晶	※2	
		情報処理基礎	2	Ⅰ・Ⅱ	後期	木 3	沼澤政信		
	発展科目	社会情報特講Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講	
		社会情報特講Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	夏季集中		△穴澤 務		
		社会情報特講Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	木 3	△大堀 隆文		
		社会連携実践Ⅲ	2	Ⅱ			大津 晶・外	a:ビジネスインターンシップ b: サービス・ラーニング 非開講 c: プロジェクト・ラーニング 応用	
		卒業研究	6	Ⅲ			大津 晶・外	早期卒業者に限る	
自由科目	☆職業指導	2	Ⅱ				未定		
	研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ						

(注) 教員名の前の△は、非常勤講師であることを示しています。

(注) 自由科目は教員免許状を修得するための科目で、平成24年度以降の入学生の履修可能

※1 「社会情報入門Ⅰ」は「社会情報入門」単位修得者は履修できません。

※2 「社会情報入門Ⅱ」は「計画科学基礎」単位修得者は履修できません。

昼間コース

(2) 学科科目  
才 専門共通科目

授業科目	単位数	配当年次	実施期間	時間割	担当者	備考
現代哲学論	2	Ⅱ				非開講
現代心理学	2	Ⅱ				非開講
文学と人間	2	Ⅱ				非開講
現代思想	2	Ⅱ	後期	水 3	西永亮	
現代の社会	2	Ⅱ				非開講
歴史と社会	2	Ⅱ				非開講
政治心理学	2	Ⅱ				非開講
国際関係論	2	Ⅱ				非開講
(環境の分析化学Ⅰ)	2	Ⅱ				非開講
現代の科学 (旧：環境の分析化学Ⅱ)	2	Ⅱ	前期	金 2	沼田ゆかり	
自然と物理学	2	Ⅱ				非開講
食糧生産と環境	2	Ⅱ	前期	金 2	八木宏樹	
現代の数学Ⅰ	2	Ⅱ	後期	月 2	後藤良彰	
現代の数学Ⅱ	2	Ⅱ			後藤良彰	非開講
現代の数学Ⅲ	2	Ⅱ			後藤良彰	非開講
現代の数学Ⅳ	2	Ⅱ			後藤良彰	非開講
人間科学論	2	Ⅱ			後藤良彰	非開講
国際コミュニケーションⅠ	2	Ⅱ	前期	水 3	△高橋純	
国際コミュニケーションⅡ	2	Ⅱ	後期	水 3	副島美由紀	
英語上級Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	後期	月 3	佐々木香織	
(ドイツ語上級Ⅰ)	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	火 3	副島美由紀	
(フランス語上級Ⅰ)	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	木 3	尾形弘人	
(中国語上級Ⅰ)	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	火 3	嘉瀬達男	
(スペイン語上級Ⅰ)	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	火 3	石井登	
(ロシア語上級Ⅰ)	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	木 3	山田久就	
(朝鮮語上級Ⅰ)	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	木 3	李賢峻	
英語上級Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	月 3	サマツヨシ	
(ドイツ語上級Ⅱ)	2	Ⅲ・Ⅳ	後期	火 3	副島美由紀	
(フランス語上級Ⅱ)	2	Ⅲ・Ⅳ	後期	水 3	△高橋純	
(中国語上級Ⅱ)	2	Ⅲ・Ⅳ	後期	火 3	嘉瀬達男	
(スペイン語上級Ⅱ)	2	Ⅲ・Ⅳ	後期	火 3	石井登	
(ロシア語上級Ⅱ)	2	Ⅲ・Ⅳ	後期	火 3	山田久就	
(朝鮮語上級Ⅱ)	2	Ⅲ・Ⅳ	後期	木 3	李賢峻	
英語上級Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講
(ドイツ語上級Ⅲ)	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講
(フランス語上級Ⅲ)	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講
(中国語上級Ⅲ)	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講
(スペイン語上級Ⅲ)	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講
(ロシア語上級Ⅲ)	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講
(朝鮮語上級Ⅲ)	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講
英語上級Ⅳ	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講
(ドイツ語上級Ⅳ)	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講
(フランス語上級Ⅳ)	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講
(中国語上級Ⅳ)	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講
(スペイン語上級Ⅳ)	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講

授業科目	単位数	配当年次	実施期間	時間割	担当者	備考
(ロシア語上級Ⅳ)	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講
(朝鮮語上級Ⅳ)	2	Ⅲ・Ⅳ				非開講
ビジネス英語Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	木 2	クワキ・ジョン	
ビジネス英語Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	後期	木 2	クワキ・ジョン	
英語学特講Ⅰ	2	Ⅱ	前期	金 4	山本久雄	
英語学特講Ⅱ	2	Ⅱ	後期	木 3	加奴・ダニワ	
英文学特講Ⅰ	2	Ⅱ				非開講
英文学特講Ⅱ	2	Ⅱ				非開講
アジア・オセアニア事情	2	Ⅰ			船津秀樹 ブラート・カロラス 小林敏彦 穴沢真 中津川雅宣 外未定	
ヨーロッパ事情	2	Ⅱ・Ⅲ			船津秀樹 ブラート・カロラス 小林敏彦 中津川雅宣 外未定	
アメリカ事情	2	Ⅱ・Ⅲ			船津秀樹 ブラート・カロラス 小林敏彦 中津川宣 外未定	
研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ	通年			

(注) 教員名の前の△は、非常勤講師であることを示しています。

## 平成29年度 授業計画

昼間コース・夜間主コース共通

(2) 学教科目  
力 教職共通科目

授業科目		単位数	配当年次	実施期間	時間割	担当者	備考	平成30年度 開講予定
教 職 に 関 す る 科 目	教職論	2	Ⅱ	前期	月 6	上野耕三郎・外		○
	教育の歴史	2	Ⅱ	前期	A:金3 B:金6	上野耕三郎	A/B	○
	教育心理	2	Ⅰ	前期	木 2	△浅村亮彦		○
	教育制度	2	Ⅰ	後期	A:火4 B:火6	上野耕三郎	A/B	○
	商業科教育法Ⅰ	2	Ⅱ・Ⅲ	前期	火 6	△田中修一 △越前元彦		×
	商業科教育法Ⅱ	2	Ⅱ・Ⅲ	後期	火 6	△田中修一 △越前元彦		×
	☆社会科教育法Ⅰ	2	Ⅱ・Ⅲ	後期	木 1	△菊地達夫		×
	☆社会科教育法Ⅱ	2	Ⅱ・Ⅲ	前期	木 6	△吉田徹		×
	☆社会科・公民科教育法Ⅰ	2	Ⅱ・Ⅲ				非開講	○
	☆社会科・公民科教育法Ⅱ	2	Ⅱ・Ⅲ				非開講	○
	英語科教育法Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	木 1	サ・マシ・ゾヨ		○
	英語科教育法Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	後期	木 1	サ・マシ・ゾヨ		○
	英語科教育法Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	金 4	小林敏彦		○
	情報科教育法Ⅰ	2	Ⅱ・Ⅲ				非開講	○
	情報科教育法Ⅱ	2	Ⅱ・Ⅲ				非開講	○
	道徳教育	2	Ⅲ・Ⅳ	後期	火 3	上野耕三郎		○
	教育課程論	2	Ⅱ	前期	A:金4 B:金6	岡部善平	A/B	○
	☆特別活動論	1	Ⅱ	後期	水 5	△未定		○
	教育方法	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	月 5	岡部善平		○
	生徒指導	2	Ⅱ	後期	A:金3 B:金6	岡部善平	A/B	○
	教育相談	2	Ⅲ・Ⅳ	前期	水 1	△渡邊誠		○
	事前・事後指導	1	Ⅳ			上野耕三郎 岡部善平 サ・マシ・ゾヨ カルバ・グニワ		○
	教育実習Ⅰ	2	Ⅳ			上野耕三郎 岡部善平 サ・マシ・ゾヨ カルバ・グニワ		○
教育実習Ⅱ	2	Ⅳ			上野耕三郎 岡部善平 サ・マシ・ゾヨ カルバ・グニワ		○	
教職実践演習(中・高)	2	Ⅳ	後期	月 5	岡部善平・外		○	

平成29年度 授業計画

授業科目		単位数	配当年次	実施期間	時間割	担当者	備考	平成30年度 開講予定
英 語 専 修	言語学概論	2	Ⅱ	後期	金 2	山本久雄		○
	英語学概論Ⅰ	2	Ⅰ	前期	金 2	△大島稔		○
	英語学概論Ⅱ	2	Ⅰ	後期	月 3	加賀・ダニヲ		○
	英語学概論Ⅲ	2	Ⅰ	後期	水 3	加賀・ダニヲ		○
	英語学Ⅰ	2	Ⅱ	後期	金 4	山本久雄		○
	英語学Ⅱ	2	Ⅱ				非開講	○
	英文学史Ⅰ	2	Ⅰ	前期	木 3	井上典子		○
	英文学史Ⅱ	2	Ⅱ				非開講	○
	英文学概論Ⅰ	2	Ⅰ	前期	月 4	羽村貴史		○
	英文学概論Ⅱ	2	Ⅱ	後期	月 4	羽村貴史		○
	英文学Ⅰ	2	Ⅱ	前期	月 3	井上典子		○
	英文学Ⅱ	2	Ⅱ				非開講	○
その他の科目	情報機器概論	2	Ⅰ	前期	火 4	△金子義之		○

(注) 教員名の前の△は、非常勤講師であることを示しています。

(注) A又はB (a又はb) 等の2つ以上にクラスが分かれている場合は、どれか一つのクラスしか履修できません。

(注) ☆がついている科目は、平成24年度以降の入学生のみ履修可能

(注) 6講目に開講されている教職共通科目は、昼間コースの学生も履修できます。

※1 「言語学概論」(2単位)、「英語学概論Ⅲ」(2単位)は平成25年度以降の入学生のみ履修を認めます。

※2 「言語学概論Ⅰ・Ⅱ」(2単位)、「英会話・英作文Ⅰ・Ⅱ」(2単位)は平成20~24年度入学生のみ履修を認めます。

※3 「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」(2単位)、「比較文化Ⅰ・Ⅱ」(2単位)は、平成23年度以前入学生は商学科発展科目に、平成24年度以降入学生は自由科目に入ります。

## 平成29年度 授業計画

### 国際交流科目

授業科目	単位数	配当年次	実施期間	時間割	担当者	備考
グローバルマネジメント入門	2	I	後期		近藤公彦	
ビジネス経済学Ⅰ	2	I・Ⅱ			未定	
ビジネス経済学Ⅱ	2	I・Ⅱ			未定	
実証研究入門	2	Ⅱ			未定	
国際経済学	2	Ⅱ	前期	月2 水2	船津秀樹	
グローバルフィールドワークⅠ	2	Ⅲ・Ⅳ			未定	
グローバルフィールドワークⅡ	2	Ⅲ・Ⅳ			未定	
日本経済	2	Ⅱ	前期		澁谷浩	
アジア太平洋経済協力	2	Ⅲ			未定	
アジア太平洋におけるマーケティング戦略	2	Ⅲ			未定	
世界の中の日本企業	2	Ⅲ			未定	
日本的経営入門	2	Ⅱ			未定	
グローバルインターンシップⅠ	2	I	前期・後期		船津秀樹・八木宏樹	
グローバルインターンシップⅡ	2	I	前期・後期		船津秀樹	
グローバルセミナーⅠ	2	I	前期・後期		船津秀樹・穴沢眞	
グローバルセミナーⅡ	2	Ⅱ	前期		船津秀樹・穴沢眞	
グローバルセミナーⅢ	2	Ⅲ・Ⅳ	後期		船津秀樹・穴沢眞	
グローバルセミナーⅣ	2	Ⅲ・Ⅳ	前期		船津秀樹・穴沢眞	
研究論文	2	Ⅲ・Ⅳ	前期・後期		未定	
外国の大学等に留学して履修した授業科目						

(注) 国際交流科目のうち、本学の学生が上記の科目を履修した場合、別表の授業科目区分に算入する。

#### 別表

授業科目	単位数	本学の学生履修した場合の授業科目区分
ビジネス経済学Ⅰ	2	学科科目(経済学科・発展科目)
ビジネス経済学Ⅱ	2	学科科目(経済学科・発展科目)
実証研究入門	2	学科科目(経済学科・発展科目)
国際経済学	2	学科科目(経済学科・基幹科目)
グローバルフィールドワークⅠ	2	学科科目(経済学科・発展科目)
グローバルフィールドワークⅡ	2	学科科目(経済学科・発展科目)
日本経済	2	学科科目(経済学科・発展科目)
アジア太平洋経済協力	2	学科科目(経済学科・発展科目)
アジア太平洋におけるマーケティング戦略	2	学科科目(商学科・発展科目)
世界の中の日本企業	2	学科科目(商学科・発展科目)
日本的経営入門	2	学科科目(商学科・発展科目)

## 2. 科目の新設・廃止・統合、配当年次・単位数・科目区分・名称変更等がある科目について

### 【共通科目】

#### ○平成 27 年度からの変更について

平成 27 年度より「総合科目 I」は、地域に関する科目の充実を図ることを目的に、以下のとおり科目分割および名称変更が行われました。科目履修の際に以下の点に注意してください。

平成 27 年度以降入学生			平成 26 年度以前入学生		
科目名	単位数	配当年次	科目名	単位数	配当年次
総合科目 I	2	I	総合科目 I	2	I
地域活性化システム論	2	I			
グローバリズムと地域経済	2	I			

#### ※履修上の注意

##### 1. 平成 26 年度以前入学者について

(1) 「総合科目 I」を既に修得済みの学生は、「地域活性化システム論」及び「グローバリズムと地域経済」を履修できません。

(2) 「総合科目 I」を全く修得していない学生は、「総合科目 I」、「地域活性化システム論」及び「グローバリズムと地域経済」のうち、いずれか 1 科目を履修できます。

##### 2. 平成 27 年度以降入学者について

「総合科目 I」、「地域活性化システム論」及び「グローバリズムと地域経済」のいずれの科目も履修できます。

#### ○平成 28 年度からの変更について

平成 28 年度より「インターンシップ」と「地域連携キャリア開発」は、キャリア教育科目間の連携をはかり、効果的、効率的にキャリア教育を実施するための体制整備をするとともに、インターンシップの多様化への対応を図ることを目的に、科目分割および名称変更が行われました。入学年次により科目区分・単位数・配当年次が異なりますので、注意してください。なお、履修方法は、掲示及びオリエンテーションにより通知します。

平成 28 年度以降入学生				平成 27 年度入学生				平成 26 年度入学生			
科目名	科目区分	単位数	配当年次	科目名	科目区分	単位数	配当年次	科目名	科目区分	単位数	配当年次
社会連携 実践 I	共通科目 (知(地)の基礎)	2	I	社会連携 実践 I	各学科 発展科目	2	II	地域連携 キャリア開発	各学科 発展科目	4	II
社会連携 実践 II	共通科目 (知(地)の基礎)	2	I・II	社会連携 実践 II	各学科 発展科目	2	III・IV	インターン シップ	各学科 発展科目	2	III・IV
社会連携 実践 III	各学科 発展科目	2	II	社会連携 実践 III	各学科 発展科目	2	III・IV				

○平成 29 年度からの変更について

「言語コミュニケーション論」は、以下の通り名称変更が行われました。

平成 29 年度以降入学生				平成 28 年度以前入学生			
科目名	科目区分	単位数	配当年次	科目名	科目区分	単位数	配当年次
ことばと文化	基礎科目 (人間と文化)	2	I	言語コミュニケーション論	基礎科目 (人間と文化)	2	I

※平成 28 年度以前入学生で、「言語コミュニケーション論」を修得済みの学生は、「ことばと文化」を履修できません。

【学科科目】

○平成 28 年度からの変更について

平成 28 年度より「組織行動論」は、「経営組織論」に名称変更となりました。よって、「組織行動論」の単位を修得済の学生は、「経営組織論」を履修することはできませんので、ご注意ください。

○平成 29 年度からの変更について

配当年次の変更

平成 29 年度以降入学生				平成 28 年度以前入学生			
科目名	科目区分	単位数	配当年次	科目名	科目区分	単位数	配当年次
統計学	経済学科 基幹科目	2	<u>I・II</u>	統計学	経済学科 基幹科目	2	<u>II</u>
現代経済理論 I	経済学科 発展科目	2	<u>III・IV</u>	現代経済理論 I	経済学科 発展科目	2	<u>II</u>
数理統計学	経済学科 発展科目	4	<u>III・IV</u>	数理統計学	経済学科 発展科目	4	<u>II</u>

単位数の変更

平成 29 年度以降入学生				平成 28 年度以前入学生			
科目名	科目区分	単位数	配当年次	科目名	科目区分	単位数	配当年次
国際貿易理論	経済学科 発展科目	<u>2</u>	III・IV	国際貿易理論	経済学科 発展科目	<u>4</u>	III・IV
租税法	企業法学科 発展科目	<u>2</u>	III・IV	租税法	企業法学科 発展科目	<u>4</u>	III・IV
国際機構論	企業法学科 発展科目	<u>2</u>	III・IV	国際機構論	企業法学科 発展科目	<u>4</u>	III・IV

科目区分の変更

平成 29 年度以降入学生				平成 28 年度以前入学生			
科目名	科目区分	単位数	配当年次	科目名	科目区分	単位数	配当年次
計量経済学	経済学科 基幹科目	4	II	計量経済学	経済学科 発展科目	4	II

平成 28 年度以前の入学生が平成 29 年度以降に単位修得した場合、「経済学科発展科目」への算入となります。

## 科目の統合・名称変更

平成 29 年度以降入学生				平成 28 年度以前入学生			
科目名	科目区分	単位数	配当年次	科目名	科目区分	単位数	配当年次
現代の化学	専門共通科目	2	Ⅱ	環境の分析化学Ⅰ	専門共通科目	2	Ⅱ
				環境の分析化学Ⅱ	専門共通科目	2	Ⅱ
外国語上級Ⅰ	専門共通科目	2	Ⅲ・Ⅳ	ドイツ語上級Ⅰ フランス語上級Ⅰ 中国語上級Ⅰ スペイン語上級Ⅰ ロシア語上級Ⅰ 朝鮮語上級Ⅰ	専門共通科目	2	Ⅲ・Ⅳ
外国語上級Ⅱ	専門共通科目	2	Ⅲ・Ⅳ	ドイツ語上級Ⅱ フランス語上級Ⅱ 中国語上級Ⅱ スペイン語上級Ⅱ ロシア語上級Ⅱ 朝鮮語上級Ⅱ	専門共通科目	2	Ⅲ・Ⅳ
外国語上級Ⅲ	専門共通科目	2	Ⅲ・Ⅳ	ドイツ語上級Ⅲ フランス語上級Ⅲ 中国語上級Ⅲ スペイン語上級Ⅲ ロシア語上級Ⅲ 朝鮮語上級Ⅲ	専門共通科目	2	Ⅲ・Ⅳ
外国語上級Ⅳ	専門共通科目	2	Ⅲ・Ⅳ	ドイツ語上級Ⅳ フランス語上級Ⅳ 中国語上級Ⅳ スペイン語上級Ⅳ ロシア語上級Ⅳ 朝鮮語上級Ⅳ	専門共通科目	2	Ⅲ・Ⅳ

※平成 28 年度以前入学生で右記科目のいずれかを修得済みの場合、平成 29 年度以降に開講の対応する科目の履修はできません。科目対応表も併せて確認すること。

## 科目の廃止

以下の科目は、平成 28 年度を以て廃止となりました。数年間は、経過措置として開講されますので、計画的に履修してください。平成 29 年度以降の入学生は、下記の科目を履修できませんので、注意してください。

### ●昼間コース科目

科目名	科目区分	単位数	配当年次
経済分析論	経済学科発展科目	4	Ⅱ
経済統計学	経済学科発展科目	4	Ⅲ・Ⅳ
経済学と現代	経済学科基幹科目	2	Ⅰ
社会と金融	商学科基幹科目	2	Ⅱ
地域市場システム論	商学科発展科目	4	Ⅲ・Ⅳ
銀行論	商学科発展科目	4	Ⅲ・Ⅳ
応用統計	社会情報学科発展科目	2	Ⅲ・Ⅳ

●夜間主コース科目

科目名	科目区分	単位数	配当年次
経済学演習Ⅲ	経済学科発展科目	2	Ⅲ・Ⅳ
経済学演習Ⅳ	経済学科発展科目	2	Ⅲ・Ⅳ
統計科学	社会情報学科基幹科目	2	Ⅱ
経営システム基礎	社会情報学科基幹科目	2	Ⅱ
社会心理と政治行動	専門共通科目	2	Ⅱ
言語文化論	専門共通科目	2	Ⅱ

科目区分の新設

科目名	科目区分	単位数	配当年次
経営戦略論	<b>商学科 発展科目</b>	4	Ⅲ・Ⅳ

※平成 28 年度以前の入学生も履修可能です。

### 3. 科目対応表 (昼間コース) について

ア 基礎科目、共通科目、一般教育科目等の科目対応

系	29年度入学者			28年度入学者			系	27年度入学者			系	18～26年度以前入学者		
	授業科目	単位	配当年次	授業科目	単位	配当年次		授業科目	単位	配当年次		授業科目	単位	配当年次
人間と文化	哲学	2	I	哲学	2	I	人間と文化	哲学	2	I	人間と文化	哲学	2	I
	論理学	2	I	論理学	2	I		論理学	2	I		論理学	2	I
	倫理学	2	I	倫理学	2	I		倫理学	2	I		倫理学	2	I
	宗教学	2	I	宗教学	2	I		宗教学	2	I		宗教学	2	I
	心理学Ⅰ	2	I	心理学Ⅰ	2	I		心理学Ⅰ	2	I		心理学Ⅰ	2	I
	心理学Ⅱ	2	I	心理学Ⅱ	2	I		心理学Ⅱ	2	I		心理学Ⅱ	2	I
	教育学	2	I	教育学	2	I		教育学	2	I		教育学	2	I
	日本文学Ⅰ	2	I	日本文学Ⅰ	2	I		日本文学Ⅰ	2	I		日本文学Ⅰ	2	I
	日本文学Ⅱ	2	I	日本文学Ⅱ	2	I		日本文学Ⅱ	2	I		日本文学Ⅱ	2	I
	外国文学Ⅰ	2	I	外国文学Ⅰ	2	I		外国文学Ⅰ	2	I		外国文学Ⅰ	2	I
	外国文学Ⅱ	2	I	外国文学Ⅱ	2	I		外国文学Ⅱ	2	I		外国文学Ⅱ	2	I
	文化論	2	I	文化論	2	I		文化論	2	I		文化論	2	I
	言語学	2	I	言語学	2	I		言語学	2	I		言語学	2	I
	日本語学	2	I	日本語学	2	I		日本語学	2	I		日本語学	2	I
比較日本文化論	2	I	比較日本文化論	2	I	比較日本文化論	2	I	比較日本文化論	2	I			
ことばと文化	2	I	言語コミュニケーション論	2	I	言語コミュニケーション論	2	I	言語コミュニケーション論	2	I			
外国語コミュニケーションⅠ	2	I	外国語コミュニケーションⅠ	2	I	外国語コミュニケーションⅠ	2	I	外国語コミュニケーションⅠ	2	I			
外国語コミュニケーションⅡ	2	I	外国語コミュニケーションⅡ	2	I	外国語コミュニケーションⅡ	2	I	外国語コミュニケーションⅡ	2	I			
外国事情	2	II	外国事情	2	II	外国事情	2	II	外国事情	2	II			
社会と人間	科学方法論	2	I	科学方法論	2	I	社会と人間	科学方法論	2	I	社会と人間	科学方法論	2	I
	社会科学	2	I	社会科学	2	I		社会科学	2	I		社会科学	2	I
	歴史学Ⅰ	2	I	歴史学Ⅰ	2	I		歴史学Ⅰ	2	I		歴史学Ⅰ	2	I
	歴史学Ⅱ	2	I	歴史学Ⅱ	2	I		歴史学Ⅱ	2	I		歴史学Ⅱ	2	I
	社会思想史Ⅰ	2	I	社会思想史Ⅰ	2	I		社会思想史Ⅰ	2	I		社会思想史Ⅰ	2	I
	社会思想史Ⅱ	2	I	社会思想史Ⅱ	2	I		社会思想史Ⅱ	2	I		社会思想史Ⅱ	2	I
社会と人間	政治学Ⅰ	2	I	政治学Ⅰ	2	I	社会と人間	政治学Ⅰ	2	I	社会と人間	政治学Ⅰ	2	I
	政治学Ⅱ	2	I	政治学Ⅱ	2	I		政治学Ⅱ	2	I		政治学Ⅱ	2	I
	社会学Ⅰ	2	I	社会学Ⅰ	2	I		社会学Ⅰ	2	I		社会学Ⅰ	2	I
	社会学Ⅱ	2	I	社会学Ⅱ	2	I		社会学Ⅱ	2	I		社会学Ⅱ	2	I
	文化人類学	2	I	文化人類学	2	I		文化人類学	2	I		文化人類学	2	I
自然と環境	数学Ⅰ	2	I	数学Ⅰ	2	I	自然と環境	数学Ⅰ	2	I	自然と環境	数学Ⅰ	2	I
	数学Ⅱ	2	I	数学Ⅱ	2	I		数学Ⅱ	2	I		数学Ⅱ	2	I
	物理学Ⅰ	2	I	物理学Ⅰ	2	I		物理学Ⅰ	2	I		物理学Ⅰ	2	I
	物理学Ⅱ	2	I	物理学Ⅱ	2	I		物理学Ⅱ	2	I		物理学Ⅱ	2	I

ア 基礎科目、共通科目、一般教育科目等の科目対応

系	29年度入学者			28年度入学者			系	27年度入学者			系	18～26年度以前入学者		
	授業科目	単位	配当年次	授業科目	単位	配当年次		授業科目	単位	配当年次		授業科目	単位	配当年次
自然と環境	化学Ⅰ	2	I	化学Ⅰ	2	I	自然と環境	化学Ⅰ	2	I	自然と環境	化学Ⅰ	2	I
	化学Ⅱ	2	I	化学Ⅱ	2	I		化学Ⅱ	2	I		化学Ⅱ	2	I
	生物学Ⅰ	2	I	生物学Ⅰ	2	I		生物学Ⅰ	2	I		生物学Ⅰ	2	I
	生物学Ⅱ	2	I	生物学Ⅱ	2	I		生物学Ⅱ	2	I		生物学Ⅱ	2	I
	環境科学	2	I	環境科学	2	I		環境科学	2	I		環境科学	2	I
知(地)の基礎	総合科目Ⅰ	2	I	総合科目Ⅰ	2	I	知(地)の基礎	総合科目Ⅰ	2	I	知(地)の基礎	総合科目Ⅰ	2	I
	地域活性化システム論	2	I	地域活性化システム論	2	I		地域活性化システム論	2	I				
	グローバリズムと地域経済	2	I	グローバリズムと地域経済	2	I		グローバリズムと地域経済	2	I				
	総合科目Ⅱ	2	I	総合科目Ⅱ	2	I		総合科目Ⅱ	2	I		総合科目Ⅱ	2	I
	総合科目Ⅲ	2	I	総合科目Ⅲ	2	I		総合科目Ⅲ	2	I		総合科目Ⅲ	2	I
	基礎数学	2	I	基礎数学	2	I		基礎数学	2	I		基礎数学	2	I
	基礎ゼミナール	2	I	基礎ゼミナール	2	I		基礎ゼミナール	2	I		基礎ゼミナール	2	I
	地域学	2	I	地域学	2	I		地域学	2	I		(地域学)	2	I
社会連携実践Ⅰ	1・2	I	(社会連携実践Ⅰ)	1・2	I	(社会連携実践Ⅰ)	1・2	I						
社会連携実践Ⅱ	2	I・II	社会連携実践Ⅱ	2	I・II	(社会連携実践Ⅱ)	2	I・II						
健康科学	生活と健康	2	I	生活と健康	2	I	健康科学	生活と健康	2	I	健康科学	生活と健康	2	I
	予防の医学	2	I	予防の医学	2	I		予防の医学	2	I		予防の医学	2	I
	健康スポーツa	1	I	健康スポーツa	1	I		健康スポーツa	1	I		健康スポーツa	1	I
	健康スポーツb	1	I	健康スポーツb	1	I		健康スポーツb	1	I		健康スポーツb	1	I
	健康スポーツc	1	II	健康スポーツc	1	II		健康スポーツc	1	II		健康スポーツc	1	II
	健康スポーツd	1	II	健康スポーツd	1	II		健康スポーツd	1	II		健康スポーツd	1	II
	健康スポーツe (水泳)	1	I	健康スポーツe (水泳)	1	I		健康スポーツe (水泳)	1	I		健康スポーツe (水泳)	1	I
	健康スポーツf (スキーⅠ)	1	I	健康スポーツf (スキーⅠ)	1	I		健康スポーツf (スキーⅠ)	1	I		健康スポーツf (スキーⅠ)	1	I
健康スポーツg (スキーⅡ)	1	II	健康スポーツg (スキーⅡ)	1	II	健康スポーツg (スキーⅡ)	1	II	健康スポーツg (スキーⅡ)	1	II			

注(1) 左右の対応は科目の対応を表し、修得した科目に対応する科目は履修できない。単一の科目と複数科目が対応する場合は、いずれの組み合わせの科目も対応科目となる。

イ 外国語科目

系	24～29年度以降入学者			系	20～23年度入学者		
	授 業 科 目	単 位	配当年次		授 業 科 目	単 位	配当年次
英 語	英語IA	1	I	英 語	英語IA	1	I
	英語IB	1	I		英語IB	1	I
	英語IC	1	I		英語IC	1	I
	英語ID	1	I		英語ID	1	I
	英語IIA1/IIIB1	1	II		英語IIA1	1	II
	英語IIA2/IIIB2	1	II		英語IIA2	1	II
	英語IIA3	1	II		英語IIA3	1	II
	英語IIA4	1	II		英語IIA4	1	II
	英語IIA1/IIIB1	1	II		英語IIB1	1	II
	英語IIA2/IIIB2	1	II		英語IIB2	1	II

注(1)履修の手引きの「英語の履修方法」の部分をよく確認すること。

系	25年度以降入学者			系	24年度以前入学者		
	授 業 科 目	単 位	配当年次		授 業 科 目	単 位	配当年次
英 語 以 外 の 外 国 語	ドイツ語I-1	2	I	英 語 以 外 の 外 国 語	ドイツ語I	4	I
	ドイツ語I-2	2	I		フランス語I	4	I
	フランス語I-1	2	I		中国語I	4	I
	フランス語I-2	2	I		スペイン語I	4	I
	中国語I-1	2	I		ロシア語I	4	I
	中国語I-2	2	I		朝鮮語I	4	I
	スペイン語I-1	2	I				
	スペイン語I-2	2	I				
	ロシア語I-1	2	I				
	ロシア語I-2	2	I				
	朝鮮語I-1	2	I				
	朝鮮語I-2	2	I				

系	25年度以降入学者			系	24年度以前入学者		
	授業科目	単位	配当年次		授業科目	単位	配当年次
英語以外の外国語	ドイツ語IIA-1	2	II	英語以外の外国語	ドイツ語IIA	4	II
	ドイツ語IIA-2	2	II		ドイツ語IIB	2	II
	ドイツ語IIB-1	1	II		フランス語IIA	4	II
	ドイツ語IIB-2	1	II		フランス語IIB	2	II
	フランス語IIA-1	2	II		中国語IIA	4	II
	フランス語IIA-2	2	II		中国語IIB	2	II
	フランス語IIB-1	1	II		スペイン語IIA	4	II
	フランス語IIB-2	1	II		スペイン語IIB	2	II
	中国語IIA-1	2	II		ロシア語IIA	4	II
	中国語IIA-2	2	II		ロシア語IIB	2	II
	中国語IIB-1	1	II		朝鮮語IIA	4	II
	中国語IIB-2	1	II		朝鮮語IIB	2	II
	スペイン語IIA-1	2	II				
	スペイン語IIA-2	2	II				
	スペイン語IIB-1	1	II				
	スペイン語IIB-2	1	II				
	ロシア語IIA-1	2	II				
	ロシア語IIA-2	2	II				
	ロシア語IIB-1	1	II				
	ロシア語IIB-2	1	II				
	朝鮮語IIA-1	2	II				
	朝鮮語IIA-2	2	II				
	朝鮮語IIB-1	1	II				
	朝鮮語IIB-2	1	II				

注(1)履修の手引きの「英語以外の外国語科目の履修方法」の部分をよく確認すること。

表2 学科科目の科目対応

ア 経済学科

講義	29年度以降入学者			講義	27～28年度以降入学者			講義	17～26年度入学者		
	授業科目	単位	配当年次		授業科目	単位	配当年次		授業科目	単位	配当年次
基礎 経済学	マクロ経済学	4	Ⅱ	マクロ経済学	4	Ⅱ	マクロ経済学	4	Ⅱ		
	ミクロ経済学	4	Ⅱ	ミクロ経済学	4	Ⅱ	ミクロ経済学	4	Ⅱ		
				経済分析論	4	Ⅱ	経済分析論	4	Ⅱ		
	現代経済理論Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	現代経済理論Ⅰ	2	Ⅱ	現代経済理論Ⅰ	2	Ⅱ		
	現代経済理論Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	現代経済理論Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	現代経済理論Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ		
	統計学	2	Ⅰ・Ⅱ	統計学	2	Ⅱ	統計学	2	Ⅱ		
	数理統計学	4	Ⅲ・Ⅳ	数理統計学	4	Ⅱ	数理統計学	4	Ⅱ		
				経済統計学	4	Ⅲ・Ⅳ	経済統計学	4	Ⅲ・Ⅳ		
	計量経済学(※1)	4	Ⅱ	計量経済学	4	Ⅱ	計量経済学	4	Ⅱ		
	経済データ解析論	4	Ⅲ・Ⅳ	経済データ解析論	4	Ⅲ・Ⅳ	経済データ解析論	4	Ⅲ・Ⅳ		
	経済学史	4	Ⅲ・Ⅳ	経済学史	4	Ⅲ・Ⅳ	経済学史	4	Ⅲ・Ⅳ		
	経済史	2	Ⅱ	経済史	2	Ⅱ	経済史	2	Ⅱ		
	日本経済史	4	Ⅱ	日本経済史	4	Ⅱ	日本経済史	4	Ⅱ		
外国経済史Ⅰ	4	Ⅲ・Ⅳ	外国経済史Ⅰ	4	Ⅲ・Ⅳ	外国経済史Ⅰ	4	Ⅲ・Ⅳ			
外国経済史Ⅱ	4	Ⅲ・Ⅳ	外国経済史Ⅱ	4	Ⅲ・Ⅳ	外国経済史Ⅱ	4	Ⅲ・Ⅳ			
応用 経済学	公共経済学	4	Ⅲ・Ⅳ	公共経済学	4	Ⅲ・Ⅳ	公共経済学	4	Ⅲ・Ⅳ		
	労働経済学	4	Ⅱ	労働経済学	4	Ⅱ	労働経済学	4	Ⅱ		
	産業組織論	4	Ⅲ・Ⅳ	産業組織論	4	Ⅲ・Ⅳ	産業組織論	4	Ⅲ・Ⅳ		
	財政学	4	Ⅲ・Ⅳ	財政学	4	Ⅲ・Ⅳ	財政学	4	Ⅲ・Ⅳ		
	現代ファイナンス理論	4	Ⅱ	現代ファイナンス理論	4	Ⅱ	現代ファイナンス理論	4	Ⅱ		
	金融論	4	Ⅱ	金融論	4	Ⅱ	金融論	4	Ⅱ		
	国際経済学	2	Ⅱ	国際経済学	2	Ⅱ	国際経済学	2	Ⅱ		
	国際貿易理論	2	Ⅲ・Ⅳ	国際貿易理論	4	Ⅲ・Ⅳ	国際貿易理論	4	Ⅱ		
	国際金融と世界経済	4	Ⅲ・Ⅳ	国際金融と世界経済	4	Ⅲ・Ⅳ	国際金融と世界経済	4	Ⅲ・Ⅳ		
	国際マクロ経済学	4	Ⅲ・Ⅳ	国際マクロ経済学	4	Ⅲ・Ⅳ	国際マクロ経済学	4	Ⅲ・Ⅳ		
経済数学	2	Ⅱ	経済数学	2	Ⅱ	経済数学	2	Ⅱ			
経済学特別講義	4	Ⅲ・Ⅳ	経済学特別講義	4	Ⅲ・Ⅳ	経済学特別講義	4	Ⅲ・Ⅳ			
			経済学と現代	2	Ⅰ	経済学と現代	2	Ⅰ			
経済学入門Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	経済学入門Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	経済学入門Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ			
経済学入門Ⅱ	2	Ⅰ・Ⅱ	経済学入門Ⅱ	2	Ⅰ・Ⅱ	経済学入門Ⅱ	2	Ⅰ・Ⅱ			
研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ	研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ	研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ			

注(1) 左右の対応は科目の対応を表し、修得した科目に対応する科目は履修できない。単一の科目と複数科目が対応する場合は、いずれの組み合わせの科目も対応科目となる。

※1 計量経済学は、平成29年度入学生から、「基幹科目」となる。

イ 商学科

講座	29年度入学者			講座	28年度入学者			講座	26～27年度入学者			講座	22～25年度入学者			講座	21年度入学者		
	授業科目	単位	配当年次		授業科目	単位	配当年次		授業科目	単位	配当年次		授業科目	単位	配当年次		授業科目	単位	配当年次
商学	流通システム論Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	流通システム論Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	流通システム論Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	流通システム論Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	流通システム論Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	流通システム論Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	
	流通システム論Ⅱ	2	Ⅱ	流通システム論Ⅱ	2	Ⅱ	流通システム論Ⅱ	2	Ⅱ	流通システム論Ⅱ	2	Ⅱ	流通システム論Ⅱ	2	Ⅱ	流通システム論Ⅱ	2	Ⅱ	
	マーケティング	4	Ⅱ	マーケティング	4	Ⅱ	マーケティング	4	Ⅱ	マーケティング	4	Ⅱ	マーケティング	4	Ⅱ	マーケティング	4	Ⅱ	
	マーケティング行動論	4	Ⅲ・Ⅳ	マーケティング行動論	4	Ⅲ・Ⅳ	マーケティング行動論	4	Ⅲ・Ⅳ	マーケティング行動論	4	Ⅲ・Ⅳ	マーケティング行動論	4	Ⅲ・Ⅳ	マーケティング行動論	4	Ⅲ・Ⅳ	
	チャネル・マネジメント	4	Ⅲ・Ⅳ	チャネル・マネジメント	4	Ⅲ・Ⅳ	チャネル・マネジメント	4	Ⅲ・Ⅳ	チャネル・マネジメント	4	Ⅲ・Ⅳ	チャネル・マネジメント	4	Ⅲ・Ⅳ	チャネル・マネジメント	4	Ⅲ・Ⅳ	
	国際マーケティング	4	Ⅲ・Ⅳ	国際マーケティング	4	Ⅲ・Ⅳ	国際マーケティング	4	Ⅲ・Ⅳ	国際マーケティング	4	Ⅲ・Ⅳ	国際マーケティング	4	Ⅲ・Ⅳ	国際マーケティング	4	Ⅲ・Ⅳ	
	貿易論	4	Ⅲ・Ⅳ	貿易論	4	Ⅲ・Ⅳ	貿易論	4	Ⅲ・Ⅳ	貿易論	4	Ⅲ・Ⅳ	貿易論	4	Ⅲ・Ⅳ	貿易論	4	Ⅲ・Ⅳ	
				地域市場システム論	4	Ⅲ・Ⅳ	地域市場システム論	4	Ⅲ・Ⅳ	地域市場システム論	4	Ⅲ・Ⅳ	地域市場システム論	4	Ⅲ・Ⅳ	地域市場システム論	4	Ⅲ・Ⅳ	
	保険論	4	Ⅲ・Ⅳ	保険論	4	Ⅲ・Ⅳ	保険論	4	Ⅲ・Ⅳ	保険論	4	Ⅲ・Ⅳ	保険論	4	Ⅲ・Ⅳ	保険論	4	Ⅲ・Ⅳ	
				社会と金融	2	Ⅱ	社会と金融	2	Ⅱ	社会と金融	2	Ⅱ	社会と金融	2	Ⅱ	社会と金融	2	Ⅱ	
	金融市場論	4	Ⅲ・Ⅳ	金融市場論	4	Ⅲ・Ⅳ	金融市場論	4	Ⅲ・Ⅳ	金融市場論	4	Ⅲ・Ⅳ	金融市場論	4	Ⅲ・Ⅳ	金融市場論	4	Ⅲ・Ⅳ	
				銀行論	4	Ⅲ・Ⅳ	銀行論	4	Ⅲ・Ⅳ	銀行論	4	Ⅲ・Ⅳ	銀行論	4	Ⅲ・Ⅳ	銀行論	4	Ⅲ・Ⅳ	
	商学特講	4	Ⅲ・Ⅳ	商学特講	4	Ⅲ・Ⅳ	商学特講	4	Ⅲ・Ⅳ	商学特講	4	Ⅲ・Ⅳ	商学特講	4	Ⅲ・Ⅳ	商学特講	4	Ⅲ・Ⅳ	
経営学	経営学原理Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	経営学原理Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	経営学原理Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	経営学原理Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	経営学原理Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	経営学原理Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	
	経営学原理Ⅱ	2	Ⅱ	経営学原理Ⅱ	2	Ⅱ	経営学原理Ⅱ	2	Ⅱ	経営学原理Ⅱ	2	Ⅱ	経営学原理Ⅱ	2	Ⅱ	経営学原理Ⅱ	2	Ⅱ	
	経営学説史	4	Ⅲ・Ⅳ	経営学説史	4	Ⅲ・Ⅳ	経営学説史	4	Ⅲ・Ⅳ	経営学説史	4	Ⅲ・Ⅳ	経営学説史	4	Ⅲ・Ⅳ	経営学説史	4	Ⅲ・Ⅳ	
	経営組織論	4	Ⅲ・Ⅳ	経営組織論	4	Ⅲ・Ⅳ	組織行動論	4	Ⅲ・Ⅳ	(組織行動論)	4	Ⅲ・Ⅳ	(組織行動論)	4	Ⅲ・Ⅳ	(組織行動論)	4	Ⅲ・Ⅳ	
	経営管理論	4	Ⅱ	経営管理論	4	Ⅱ	経営管理論	4	Ⅱ	経営管理論	4	Ⅱ	経営管理論	4	Ⅱ	経営管理論	4	Ⅱ	
	労務管理論	4	Ⅲ・Ⅳ	労務管理論	4	Ⅲ・Ⅳ	労務管理論	4	Ⅲ・Ⅳ	労務管理論	4	Ⅲ・Ⅳ	労務管理論	4	Ⅲ・Ⅳ	労務管理論	4	Ⅲ・Ⅳ	
	財務管理論	4	Ⅲ・Ⅳ	財務管理論	4	Ⅲ・Ⅳ	財務管理論	4	Ⅲ・Ⅳ	財務管理論	4	Ⅲ・Ⅳ	財務管理論	4	Ⅲ・Ⅳ	財務管理論	4	Ⅲ・Ⅳ	
	国際経営論	4	Ⅲ・Ⅳ	国際経営論	4	Ⅲ・Ⅳ	国際経営論	4	Ⅲ・Ⅳ	国際経営論	4	Ⅲ・Ⅳ	国際経営論	4	Ⅲ・Ⅳ	国際経営論	4	Ⅲ・Ⅳ	
	経営史	4	Ⅱ	経営史	4	Ⅱ	経営史	4	Ⅱ	経営史	4	Ⅱ	経営史	4	Ⅱ	経営史	4	Ⅱ	
	環境経営論	4	Ⅲ・Ⅳ	環境経営論	4	Ⅲ・Ⅳ	環境経営論	4	Ⅲ・Ⅳ	環境経営論	4	Ⅲ・Ⅳ	環境経営論	4	Ⅲ・Ⅳ	エコロジーと経営戦略	2	Ⅲ・Ⅳ	
	中小企業論	4	Ⅲ・Ⅳ	中小企業論	4	Ⅲ・Ⅳ	中小企業論	4	Ⅲ・Ⅳ	中小企業論	4	Ⅲ・Ⅳ	中小企業論	4	Ⅲ・Ⅳ	中小企業論	4	Ⅲ・Ⅳ	
	経営学特講	2	Ⅲ・Ⅳ	経営学特講	2	Ⅲ・Ⅳ	経営学特講	2	Ⅲ・Ⅳ	経営学特講	2	Ⅲ・Ⅳ	経営学特講	2	Ⅲ・Ⅳ	経営学特講	2	Ⅲ・Ⅳ	
経営戦略論	4	Ⅲ・Ⅳ	(経営戦略論)	4	Ⅲ・Ⅳ	(経営戦略論)	4	Ⅲ・Ⅳ	(経営戦略論)	4	Ⅲ・Ⅳ	(経営戦略論)	4	Ⅲ・Ⅳ	(経営戦略論)	4	Ⅲ・Ⅳ		
簿記原理	2	Ⅰ	簿記原理	2	Ⅰ	簿記原理	2	Ⅰ	簿記原理	2	Ⅰ	簿記原理	2	Ⅰ	簿記原理	2	Ⅰ		
応用簿記	2	Ⅱ	応用簿記	2	Ⅱ	応用簿記	2	Ⅱ	応用簿記	2	Ⅱ	応用簿記	2	Ⅱ	応用簿記	2	Ⅱ		

イ 商学科

講座	29年度入学者				講座	28年度入学者				講座	26～27年度入学者				講座	2～25年度入学者				講座	21年度入学者			
	授業科目	単位	配当年次			授業科目	単位	配当年次			授業科目	単位	配当年次			授業科目	単位	配当年次			授業科目	単位	配当年次	
会計学	経営と会計	2	II		経営と会計	2	II		経営と会計	2	II		経営と会計	2	II		経営と会計	2	II		経営と会計	2	II	
	財務会計論	4	II		財務会計論	4	II		財務会計論	4	II		財務会計論	4	II		財務会計論	4	II		財務会計論	4	II	
	原価計算論	4	II		原価計算論	4	II		原価計算論	4	II		原価計算論	4	II		原価計算論	4	II		原価計算論	4	II	
	管理会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		管理会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		管理会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		管理会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		管理会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		管理会計論	4	Ⅲ・Ⅳ	
	監査論	4	Ⅲ・Ⅳ		監査論	4	Ⅲ・Ⅳ		監査論	4	Ⅲ・Ⅳ		監査論	4	Ⅲ・Ⅳ		監査論	4	Ⅲ・Ⅳ		監査論	4	Ⅲ・Ⅳ	
	国際会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		国際会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		国際会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		国際会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		国際会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		国際会計論	4	Ⅲ・Ⅳ	
	組織と会計	2	Ⅲ・Ⅳ		組織と会計	2	Ⅲ・Ⅳ		組織と会計	2	Ⅲ・Ⅳ		組織と会計	2	Ⅲ・Ⅳ		組織と会計	2	Ⅲ・Ⅳ		組織と会計	2	Ⅲ・Ⅳ	
	税務会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		税務会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		税務会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		税務会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		税務会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		税務会計論	4	Ⅲ・Ⅳ	
	会計学特講	2	Ⅲ・Ⅳ		会計学特講	2	Ⅲ・Ⅳ		会計学特講	2	Ⅲ・Ⅳ		会計学特講	2	Ⅲ・Ⅳ		会計学特講	2	Ⅲ・Ⅳ		会計学特講	2	Ⅲ・Ⅳ	
	英語コミュニケーションⅠ	2	II		英語コミュニケーションⅠ	2	II		英語コミュニケーションⅠ	2	II		英語コミュニケーションⅠ	2	II		英語コミュニケーションⅠ	2	II		英語コミュニケーションⅠ	2	II	
	英語コミュニケーションⅡ	2	II		英語コミュニケーションⅡ	2	II		英語コミュニケーションⅡ	2	II		英語コミュニケーションⅡ	2	II		英語コミュニケーションⅡ	2	II		英語コミュニケーションⅡ	2	II	
	比較文化Ⅰ	2	II		比較文化Ⅰ	2	II		比較文化Ⅰ	2	II		比較文化Ⅰ	2	II		比較文化Ⅰ	2	II		比較文化Ⅰ	2	II	
	比較文化Ⅱ	2	II		比較文化Ⅱ	2	II		比較文化Ⅱ	2	II		比較文化Ⅱ	2	II		比較文化Ⅱ	2	II		比較文化Ⅱ	2	II	
	研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ		研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ		研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ		研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ		研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ		研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ	

注(1) 左右の対応は科目の対応を表し、修得した科目に対応する科目は履修できない。単一の科目と複数科目が対応する場合は、いずれの組み合わせの科目も対応科目となる。

ウ 企業法学科

講座	29年度入学者			講座	21~28年度入学者		
	授業科目	単位	配当年次		授業科目	単位	配当年次
基礎法	法学	2	I	法学	2	I	
	憲法・基礎I	2	I・II	憲法・基礎I	2	I・II	
	憲法・基礎II	2	II	憲法・基礎II	2	II	
	憲法II	4	II	憲法II	4	II	
	行政法I	4	III・IV	行政法I	4	III・IV	
	行政法II	4	III・IV	行政法II	4	III・IV	
	租税法	2	III・IV	租税法	4	III・IV	
	民法・基礎I	2	I・II	民法・基礎I	2	I・II	
	民法・基礎II	2	II	民法・基礎II	2	II	
	民法II	4	II	民法II	4	II	
	民法III	4	III・IV	民法III	4	III・IV	
	民法IV	2	III・IV	民法IV	2	III・IV	
	刑法I	4	II	刑法I	4	II	
	刑法II(※1)	2	III・IV	刑法II(※1)	2	III・IV	
	国際法	4	II	国際法	4	II	
国際機構論	2	II	国際機構論	4	II		
基礎法特講I(※2)	2	III・IV	基礎法特講I(※2)	2	III・IV		
基礎法特講II	2	III・IV	基礎法特講II	2	III・IV		
企業法	商法I	4	II	商法I	4	II	
	商法II	4	III・IV	商法II	4	III・IV	
	商法III	4	III・IV	商法III	4	III・IV	
	民事手続法	4	II	民事手続法	4	II	
	倒産処理法	2	III・IV	倒産処理法	2	III・IV	
	経済法	4	III・IV	経済法	4	III・IV	
	知的財産法	4	III・IV	知的財産法	4	III・IV	

ウ 企業法学科

講座	29年度入学者			講座	21～28年度入学者		
	授業科目	単位	配当年次		授業科目	単位	配当年次
企業法	労働法	4	Ⅲ・Ⅳ	企業法	労働法	4	Ⅲ・Ⅳ
	社会保障法	4	Ⅲ・Ⅳ		社会保障法	4	Ⅲ・Ⅳ
	企業法特講Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ		企業法特講Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ
	国際経済法	4	Ⅲ・Ⅳ		国際経済法	4	Ⅲ・Ⅳ
	国際取引法	4	Ⅲ・Ⅳ		国際取引法	4	Ⅲ・Ⅳ
	企業法特講Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ		企業法特講Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ
	研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ		研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ

注（１） 左右の対応は科目の対応を表し、修得した科目に対応する科目は履修できない。単一の科目と複数科目が対応する場合は、いずれの組み合わせの科目も対応科目となる。

エ 社会情報学科

講義	29年度入学者			26～28年度入学者			20～25年度入学者		
	授業科目	単位	配当年次	授業科目	単位	配当年次	授業科目	単位	配当年次
	オペレーションズ・リサーチ	2	Ⅱ	オペレーションズ・リサーチ	2	Ⅱ	オペレーションズ・リサーチ	2	Ⅱ
	統計科学	2	Ⅱ	統計科学	2	Ⅱ	統計科学	2	Ⅱ
	計画数学Ⅰ	2	Ⅱ	計画数学Ⅰ	2	Ⅱ	計画数学Ⅰ	2	Ⅱ
	計画数学Ⅱ ※注2	2	Ⅱ	計画数学Ⅱ ※注2	2	Ⅱ	計画数学Ⅱ ※注2	2	Ⅱ
				応用統計	2	Ⅲ・Ⅳ	応用統計	2	Ⅲ・Ⅳ
	社会計画	4	Ⅲ・Ⅳ	社会計画	4	Ⅲ・Ⅳ	社会計画	4	Ⅲ・Ⅳ
	計画科学	4	Ⅲ・Ⅳ	計画科学	4	Ⅲ・Ⅳ	計画科学	4	Ⅲ・Ⅳ
	意思決定論	4	Ⅲ・Ⅳ	意思決定論	4	Ⅲ・Ⅳ	意思決定論	4	Ⅲ・Ⅳ
組織と情報	経営システム基礎	2	Ⅱ	経営システム基礎	2	Ⅱ	経営システム基礎	2	Ⅱ
	プロジェクトマネジメント基礎	2	Ⅱ	プロジェクトマネジメント基礎	2	Ⅱ	プロジェクトマネジメント基礎	2	Ⅱ
	組織コミュニケーション論	2	Ⅱ	組織コミュニケーション論	2	Ⅱ	組織コミュニケーション論	2	Ⅱ
	実践プロジェクトマネジメント	2	Ⅲ・Ⅳ	実践プロジェクトマネジメント	2	Ⅲ・Ⅳ	実践プロジェクトマネジメント	2	Ⅲ・Ⅳ
	組織情報論	2	Ⅲ・Ⅳ	組織情報論	2	Ⅲ・Ⅳ	組織情報論	2	Ⅲ・Ⅳ
	ビジネスシステム論	2	Ⅲ・Ⅳ	ビジネスシステム論	2	Ⅲ・Ⅳ	ビジネスシステム論	2	Ⅲ・Ⅳ
	社会情報論	2	Ⅲ・Ⅳ	社会情報論	2	Ⅲ・Ⅳ	社会情報論	2	Ⅲ・Ⅳ
	情報システム管理論	2	Ⅱ	情報システム管理論	2	Ⅱ	情報システム管理論	2	Ⅱ
	情報システム構築論	2	Ⅲ・Ⅳ	情報システム構築論	2	Ⅲ・Ⅳ	情報システム構築論	2	Ⅲ・Ⅳ
	デジタルデザイン論	2	Ⅱ	デジタルデザイン論	2	Ⅱ	デジタルデザイン論	2	Ⅱ
	システム戦略論	2	Ⅲ・Ⅳ	システム戦略論	2	Ⅲ・Ⅳ	システム戦略論	2	Ⅲ・Ⅳ
社会と情報	情報処理 ※注2	4	Ⅱ	情報処理 ※注2	4	Ⅱ	情報処理 ※注2	4	Ⅱ
	情報数理	2	Ⅱ	情報数理	2	Ⅱ	情報数理	2	Ⅱ
	知識科学基礎	2	Ⅱ	知識科学基礎	2	Ⅱ	知識科学基礎	2	Ⅱ
	認知科学	4	Ⅲ・Ⅳ	認知科学	4	Ⅲ・Ⅳ	認知科学	4	Ⅲ・Ⅳ
	ソフトウェア科学	4	Ⅲ・Ⅳ	ソフトウェア科学	4	Ⅲ・Ⅳ	ソフトウェア科学	4	Ⅲ・Ⅳ
	コンピュータネットワーク論	4	Ⅲ・Ⅳ	コンピュータネットワーク論	4	Ⅲ・Ⅳ	コンピュータネットワーク論	4	Ⅲ・Ⅳ
	情報と職業	2	Ⅲ・Ⅳ	情報と職業	2	Ⅲ・Ⅳ	情報と職業	2	Ⅲ・Ⅳ
	応用情報論Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	応用情報論Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	応用情報論Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ
	応用情報論Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	応用情報論Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	応用情報論Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ

エ 社会情報学科

講座	29年度入学者			26～28年度入学者			20～25年度入学者		
	授業科目	単位	配当年次	授業科目	単位	配当年次	授業科目	単位	配当年次
	社会情報入門Ⅰ	2	Ⅰ	社会情報入門Ⅰ	2	Ⅰ	社会情報入門	2	Ⅰ
	社会情報入門Ⅱ	2	Ⅰ・Ⅱ	社会情報入門Ⅱ	2	Ⅰ・Ⅱ	計画科学基礎	2	Ⅰ・Ⅱ
	情報処理基礎	2	Ⅰ・Ⅱ	情報処理基礎	2	Ⅰ・Ⅱ	情報処理基礎	2	Ⅰ・Ⅱ
	社会情報特講Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	社会情報特講Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	社会情報特講Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ
	社会情報特講Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	社会情報特講Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	社会情報特講Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ
	社会情報特講Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ	社会情報特講Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ	社会情報特講Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ
	研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ	研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ	研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ+EE32:148

注(1) 左右の対応は科目の対応を表し、修得した科目に対応する科目は履修できない。  
単一の科目と複数科目が対応する場合は、いずれの組み合わせの科目も対応科目となる。

(2) 「計画数学Ⅱ」、「情報処理」は、平成19年度入学生から基幹科目となる。

表 3

専門共通科目の科目対応

系	29年度入学者			25～28年度入学者			20～24年度入学者		
	授業科目	単位	配当年次	授業科目	単位	配当年次	授業科目	単位	配当年次
専門 共通 科目	現代哲学論	2	Ⅱ	現代哲学論	2	Ⅱ	現代哲学論	2	Ⅱ
	現代心理学	2	Ⅱ	現代心理学	2	Ⅱ	現代心理学	2	Ⅱ
	文学と人間	2	Ⅱ	文学と人間	2	Ⅱ	文学と人間	2	Ⅱ
	現代思想	2	Ⅱ	現代思想	2	Ⅱ	現代思想	2	Ⅱ
	現代の社会	2	Ⅱ	現代の社会	2	Ⅱ	現代の社会	2	Ⅱ
	歴史と社会	2	Ⅱ	歴史と社会	2	Ⅱ	歴史と社会	2	Ⅱ
	政治心理学	2	Ⅱ	政治心理学	2	Ⅱ	政治心理学	2	Ⅱ
	国際関係論	2	Ⅱ	国際関係論	2	Ⅱ	国際関係論	2	Ⅱ
	現代の化学	2	Ⅱ	環境の分析化学Ⅰ	2	Ⅱ	環境の分析化学Ⅰ	2	Ⅱ
				環境の分析化学Ⅱ	2	Ⅱ	環境の分析化学Ⅱ	2	Ⅱ
	自然と物理学	2	Ⅱ	自然と物理学	2	Ⅱ	自然と物理学	2	Ⅱ
	食糧生産と環境	2	Ⅱ	食糧生産と環境	2	Ⅱ	食糧生産と環境	2	Ⅱ
	現代の数学Ⅰ	2	Ⅱ	現代の数学Ⅰ	2	Ⅱ	現代の数学Ⅰ	2	Ⅱ
	現代の数学Ⅱ	2	Ⅱ	現代の数学Ⅱ	2	Ⅱ	現代の数学Ⅱ	2	Ⅱ
	現代の数学Ⅲ	2	Ⅱ	現代の数学Ⅲ	2	Ⅱ	現代の数学Ⅲ	2	Ⅱ
	現代の数学Ⅳ	2	Ⅱ	現代の数学Ⅳ	2	Ⅱ	現代の数学Ⅳ	2	Ⅱ
	人間科学論	2	Ⅱ	人間科学論	2	Ⅱ	人間科学論	2	Ⅱ
	国際コミュニケーションⅠ	2	Ⅱ	国際コミュニケーションⅠ	2	Ⅱ	国際コミュニケーションⅠ	2	Ⅱ
	国際コミュニケーションⅡ	2	Ⅱ	国際コミュニケーションⅡ	2	Ⅱ	国際コミュニケーションⅡ	2	Ⅱ
	英語上級Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	英語上級Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	上級外国語Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ
	外国語上級Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	ドイツ語上級Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ			
				フランス語上級Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ			
				中国語上級Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ			
				スペイン語上級Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ			
				ロシア語上級Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ			
	朝鮮語上級Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ						
	英語上級Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	英語上級Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	上級外国語Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ
外国語上級Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	ドイツ語上級Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ				
			フランス語上級Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ				
			中国語上級Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ				
			スペイン語上級Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ				
			ロシア語上級Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ				
朝鮮語上級Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ							
英語上級Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ	英語上級Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ	上級外国語Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ	
外国語上級Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ	ドイツ語上級Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ				
			フランス語上級Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ				
			中国語上級Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ				
			スペイン語上級Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ				
			ロシア語上級Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ				
朝鮮語上級Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ							
英語上級Ⅳ	2	Ⅲ・Ⅳ	英語上級Ⅳ	2	Ⅲ・Ⅳ	上級外国語Ⅳ	2	Ⅲ・Ⅳ	
外国語上級Ⅳ	2	Ⅲ・Ⅳ	ドイツ語上級Ⅳ	2	Ⅲ・Ⅳ				
			フランス語上級Ⅳ	2	Ⅲ・Ⅳ				
			中国語上級Ⅳ	2	Ⅲ・Ⅳ				
			スペイン語上級Ⅳ	2	Ⅲ・Ⅳ				
			ロシア語上級Ⅳ	2	Ⅲ・Ⅳ				
朝鮮語上級Ⅳ	2	Ⅲ・Ⅳ							
ビジネス英語Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	ビジネス英語Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	ビジネス英語Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	
ビジネス英語Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	ビジネス英語Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	ビジネス英語Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	

専門共通科目の科目対応

系	29年度入学者			25～28年度入学者			20～24年度入学者		
	授業科目	単位	配当年次	授業科目	単位	配当年次	授業科目	単位	配当年次
	英語学特講Ⅰ	2	Ⅱ	英語学特講Ⅰ	2	Ⅱ	英語学特講Ⅰ	2	Ⅱ
	英語学特講Ⅱ	2	Ⅱ	英語学特講Ⅱ	2	Ⅱ	英語学特講Ⅱ	2	Ⅱ
	英文学特講Ⅰ	2	Ⅱ	英文学特講Ⅰ	2	Ⅱ	英文学特講Ⅰ	2	Ⅱ
	英文学特講Ⅱ	2	Ⅱ	英文学特講Ⅱ	2	Ⅱ	英文学特講Ⅱ	2	Ⅱ
	研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ	研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ	研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ

注（1） 左右の対応は科目の対応を表し、修得した科目に対応する科目は履修できない。単一の科目と複数科目が対応する場合は、いずれの組み合わせの科目も対応科目となる。

## 4. 外国語科目の履修方法

### 目次

1. 外国語科目の履修方法（全学年共通）	39 pp.
1.1. 平成28年度開講科目	
1.2. 必修14単位の履修方法	
2. 英語以外の外国語科目の履修方法／再履修方法	41 pp.
2.1. 英語以外の外国語科目の履修方法	
2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法	
2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法	
2.2. 英語以外の外国語科目の再履修方法	
2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法	
2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法	
2.3. 各語系の履修方法（平成29年度）	47 pp.
・ドイツ語の履修方法	
・フランス語の履修方法	
・中国語の履修方法	
・スペイン語の履修方法	
・ロシア語の履修方法	
・朝鮮語の履修方法	
3. 英語の履修方法	56 pp.

# 1. 外国語科目の履修方法（全学年共通）

履修にあたっては、前ページの目次を参照のうえ、自分が該当する部分を熟読して履修手続きしてください。

## 1.1. 平成29年度開講科目

表1：平成29年度開講の外国語Ⅰ

科目名	(単位数、開講学期)	科目名	(単位数、開講学期)
英語	I A (1単位、前期)	中国語	I-1 (2単位、前期)
英語	I B (1単位、前期)	中国語	I-2 (2単位、後期)
英語	I C (1単位、後期)	スペイン語	I-1 (2単位、前期)
英語	I D (1単位、前/後)	スペイン語	I-2 (2単位、後期)
ドイツ語	I-1 (2単位、前期)	ロシア語	I-1 (2単位、前期)
ドイツ語	I-2 (2単位、後期)	ロシア語	I-2 (2単位、後期)
フランス語	I-1 (2単位、前期)	朝鮮語	I-1 (2単位、前期)
フランス語	I-2 (2単位、後期)	朝鮮語	I-2 (2単位、後期)

表2：平成29年度開講の外国語Ⅱ

科目名	(単位数、開講学期)	科目名	(単位数、開講学期)
英語	II A 1 / II B 1 (1単位、前/後)	中国語	II B-1 (1単位、前期)
英語	II A 2 / II B 2 (1単位、前/後)	中国語	II B-2 (1単位、後期)
英語	II A 3 (1単位、前/後)	スペイン語	II A-1 (2単位、前期)
英語	II A 4 (1単位、前/後)	スペイン語	II A-2 (2単位、後期)
ドイツ語	II A-1 (2単位、前期)	スペイン語	II B-1 (1単位、前期)
ドイツ語	II A-2 (2単位、後期)	スペイン語	II B-2 (1単位、後期)
ドイツ語	II B-1 (1単位、前期)	ロシア語	II A-1 (2単位、前期)
ドイツ語	II B-2 (1単位、後期)	ロシア語	II A-2 (2単位、後期)
フランス語	II A-1 (2単位、前期)	ロシア語	II B-1 (1単位、前期)
フランス語	II A-2 (2単位、後期)	ロシア語	II B-2 (1単位、後期)
フランス語	II B-1 (1単位、前期)	朝鮮語	II A-1 (2単位、前期)
フランス語	II B-2 (1単位、後期)	朝鮮語	II A-2 (2単位、後期)
中国語	II A-1 (2単位、前期)	朝鮮語	II B-1 (1単位、前期)
中国語	II A-2 (2単位、後期)	朝鮮語	II B-2 (1単位、後期)

## 1.2. 必修14単位の履修方法

- 1) 卒業に必要な外国語科目の必修単位は14単位です。
- 2) 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、朝鮮語のうちからふたつの言語を選択し、それぞれについて外国語Ⅰと外国語Ⅱを履修します。
- 3) 外国語科目の必修14単位の内訳は次のとおりです。
  - ① 外国語Ⅰは、ひとつの言語につき4単位、ふたつの言語で計8単位が必修。
  - ② 外国語Ⅱは、外国語Ⅰで選択した2言語のうち、一方をAコース(ⅡA)として4単位、他方をBコース(ⅡB)として2単位、計6単位が必修。
- 4) 例えば、外国語Ⅰで英語とドイツ語を選択し、外国語Ⅱで英語をAコース、ドイツ語をBコースとして履修した場合、次の表のようになります。

表3：外国語選択の例

	英語	ドイツ語	計
外国語Ⅰ	4単位	4単位	8単位
外国語Ⅱ	4単位 (ⅡA)	2単位 (ⅡB)	6単位
計	8単位	6単位	14単位

- 5) 外国語科目として英語を選択せず、例えばドイツ語とフランス語を履修することもできます。詳細については、言語センターまたは履修指導教員にお尋ねください。
- 6) 表1および表2の外国語科目の単位数は、以下に定められた授業回数(および予習・復習時間数)より算定されています
  - ① 半期1単位科目については、週1回、半期15週、計15回の授業
  - ② 半期2単位科目については、週2回、半期15週、計30回の授業
- 7) 各科目の単位認定にあたっては、原則として、上記に定める授業への出席回数を満たしたうえで、定期試験等により合格・不合格の判定が行われます。なお、「秀、優、良、可」の評価基準については、各語系および各教員のシラバスを参照してください。
- 8) 英語以外の外国語科目では、外国語Ⅰの単位が未修得のまま、外国語Ⅱを同時履修することは認められません。ただし、卒年次生に限り外国語Ⅰと外国語Ⅱの同時履修を認めますが、単位認定の基準等について特別な扱いはありません。  
実際問題として、ⅠとⅡの同時履修は相当に困難であり、また、成績評価にあたっては個人的事情は一切考慮いたしませんので注意してください。

## 2. 英語以外の外国語科目の履修方法／再履修方法

### 2.1. 英語以外の外国語科目の履修方法

#### 2.1.1. 英語以外の外国語 I の履修方法

##### ア) 履修言語の決定

英語以外の外国語は、入学手続の際に配布する冊子『外国語への招待』にしたがって、本学ホームページより履修志望登録を行います。これをもとに抽選にて履修言語を決定し、初回授業の前に掲示等にて発表します。

##### イ) 開講学期

39 ページの「表 1：平成 29 年度開講の外国語 I」のうち、外国語 I - 1 は前期科目、外国語 I - 2 は後期科目であり、それぞれ週 2 回、半期 15 週、計 30 回の授業が開講されます。

##### ウ) クラス編成

I - 1、I - 2 に複数のクラスがある場合、クラス名はアルファベット小文字で表記します。その場合、履修者は、前期、後期とも同一のクラスを履修することとします（例えば、前期が I - 1a なら、後期は I - 2a）。なお、クラス所属については、履修言語の決定とともに掲示等にて発表します。

##### エ) 履修資格

後期の外国語 I - 2 を履修するためには、前期の外国語 I - 1 の 2 単位を修得しておかなければなりません。（次ページのフローチャート参照）

##### オ) 単位認定

I - 1、I - 2 とも半期 2 単位科目です。原則として、上記イ) に定める授業への出席回数を満たしたうえで、定期試験等により成績評価が行われ、合格または不合格の単位認定が行われます。なお、火曜日と木曜日で担当者が異なる場合も、一括して半期 2 単位が認定されます。

##### カ) 定期試験の受験資格

履修方法等に関する規則第 1 1 条の 2 により、単位認定に関わる定期試験を受験するためには、原則として、授業回数の少なくとも 2 / 3 以上の出席が必要です。ただし、外国語の学習では、教室での実習が中心となりますので、度重なる欠席は好ましくありません。

##### キ) 合格および成績評価の基準

外国語 I の合格基準および「秀、優、良、可」の評価基準については、各語系および各教員のシラバスを参照してください。

##### ク) 学外の検定試験等による単位認定

学外の検定試験等で一定以上の成績を修めて申請すると、本学の外国語 I の単位が認定されます。詳細については、「IV-6 大学以外の教育施設等における学修の単位認定」を参照してください。

##### ケ) 選択言語の変更

前年度以前に選択していた外国語を他の言語に変更する場合、次の扱いとなります。

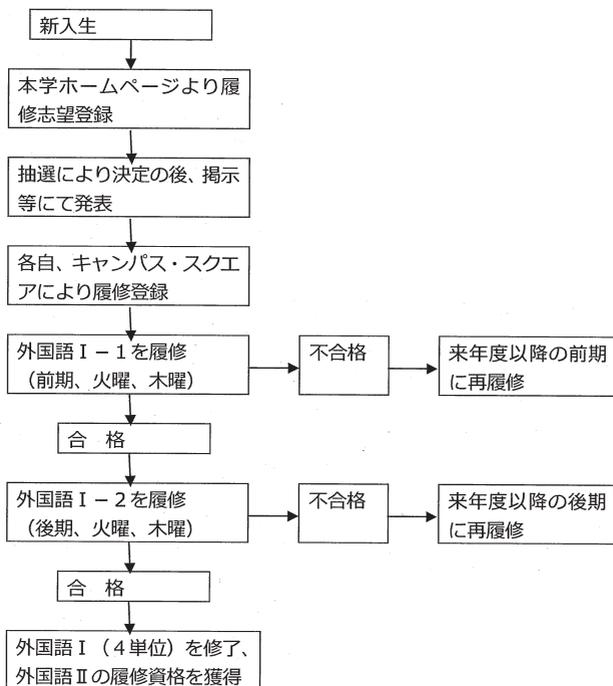
① 外国語 I の 2 言語 8 単位に不足がある場合、新入生と同じく抽選の対象となります。具体的な手続きについては、45 ページのナ) を参照のこと。

② 外国語 I の 2 言語 8 単位を修得済みの場合、希望どおりの変更が認められます。変更を希望する者は、その旨を変更前の言語の担当教員、新たに履修する言語の担当教員、および学部教務係に申し出ること。

##### コ) 第三外国語の履修

外国語 I の 2 言語 8 単位を修得済みの場合、新たにもうひとつの外国語 I を第三外国語として履修することができます。ただし、第三外国語の単位は、外国語科目ではなく、自由選択科目に算入されます。詳細については、言語センターまたは履修指導教員にお尋ねください。

サ) 外国語 I の履修のフローチャート



## 2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法

### シ) 開講科目と開講学期

本年度開講される外国語Ⅱの科目および開講学期は、上の「表2」のとおりです。

### ス) コース選択と所属クラスの決定

外国語Ⅱは、AコースまたはBコースのいずれかを選択して履修します。Aコースは前期のⅡA-1および後期のⅡA-2からなり、Bコースは前期のⅡB-1および後期のⅡB-2からなります。

同一のコースに複数のクラスがある場合、クラス名はアルファベット小文字で表記します。その場合、履修者は、前期、後期とも同一のクラスを履修することとします（例えば、前期がⅡA-1aなら、後期はⅡA-2a）。

なお、コース選択および所属クラスの決定については、シラバスその他、各語系の指示に従うこと。

### セ) 単位数とコース修了

ⅡA-1およびⅡA-2は、それぞれ週2回、15週、計30回の2単位科目であり、両科目の計4単位の修得をもってAコースの修了となります。

ⅡB-1およびⅡB-2は、それぞれ週1回、15週、計15回の1単位科目であり、両科目の計2単位の修得をもってBコースの修了となります。

### ソ) 履修資格

外国語Ⅱを履修するためには、外国語Ⅰの4単位を修得しておかなければなりません。

また、ⅡA-2の履修はⅡA-1の2単位を、ⅡB-2の履修はⅡB-1の1単位の修得を前提とします。

### タ) 単位認定

単位の認定にあたっては、原則として、上記セ)に定める授業への出席回数を満たしたうえで、定期試験等により成績評価が行われ、合格または不合格が判定されます。なお、Aコースの場合、火曜日と木曜日で担当者が異なる場合も、一括して半期2単位が認定されます。

### チ) 定期試験の受験資格

履修方法等に関する規則第11条の2により、単位認定に関わる定期試験を受験するためには、原則として、授業回数の少なくとも2/3以上の出席が必要です。ただし、外国語の学習では、教室での実習が中心となりますので、度重なる欠席は好ましくありません。

### ツ) 合格および成績評価の基準

外国語Ⅱの合格基準および「秀、優、良、可」の評価基準については、各語系および各教員のシラバスを参照してください。

### テ) 選択コースの変更

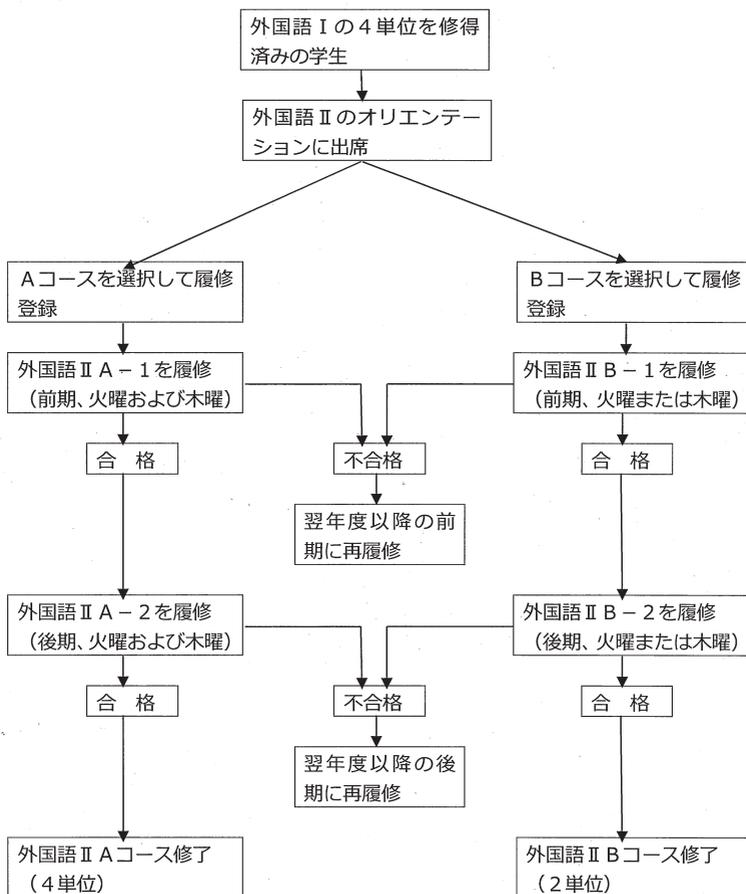
前年度以前に選択していたA/Bコースを変更しようとする場合は、次の扱いとなります。

- ① 既習のコースにおいて修得した単位は、外国語科目には算入されない。例えば、ドイツ語ⅡをBコースからAコースに変更する場合、ドイツ語ⅡBの2単位を修得していた

としても、新たにドイツ語Ⅱ Aの4単位を修得しなければならない。なお、ドイツ語Ⅱ Bで修得した2単位は、自由選択科目に算入される。

- ② コースを変更する場合、他の外国語Ⅱについても、コース変更しなければならない。例えばドイツ語ⅡをBコースからAコースに変更した場合、もう一方の外国語Ⅱも、AコースからBコースに変更しなければならない。その際の単位の取り扱いは、上の①に準ずる。

ト) 外国語Ⅱの履修のフローチャート



## 2.2. 英語以外の外国語の再履修方法

### 2.2.1. 英語以外の外国語 I の再履修方法

#### ナ) 全学年共通

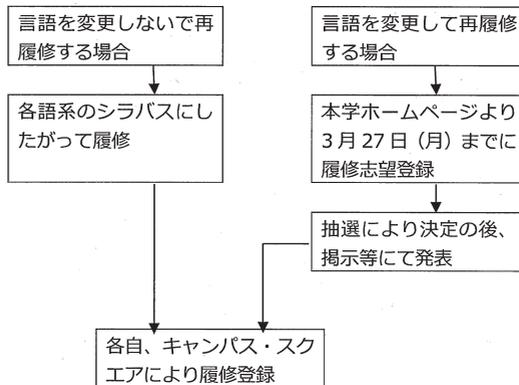
- 1) 外国語 I の再履修において、選択する言語を変更しようとする場合、新入生と同じ抽選の対象となります。変更希望者は、本学ホームページより3月27日(月)(厳守)まで履修志望登録を行ってください。また、変更が認められた場合、その旨を担当教員および学部教務係に届け出ること。
- 2) 外国語 I の再履修において、選択する言語を変更しない場合は、上記1)の履修志望登録を行う必要はありません。クラスの所属等については、各語系の指示に従ってください。

#### ニ) 平成24年度以前の入学生(移行措置)

平成25年度から外国語 I に半期制が導入されたことを受け、以下の移行措置に注意してください。

- 1) 半期制導入後の I-1 (前期) および I-2 (後期) を履修すること(表1参照)。
- 2) 後期の I-2 を履修するためには、前期で I-1 の2単位を履修済みでなければならない。
- 3) 履修言語の変更については、上記のナ) を参照のこと。
- 4) その他、履修方法の詳細については、上記のア) ~サ) を参照のこと。

#### ヌ) 外国語 I の再履修のフローチャート



### 2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法

ネ) 半期制への移行措置（平成24年度以前の学生）

平成26年度から外国語Ⅱに半期制が導入されたことを受け、以下の移行措置に注意してください。

- 1) A/Bコース選択はこれまでどおり維持される。
- 2) 従来の通年制におけるⅡAは、ⅡA-1（前期）およびⅡA-2（後期）に分割され、それぞれ別個に単位認定される。（表2参照）
- 3) 従来の通年制におけるⅡBは、ⅡB-1（前期）およびⅡB-2（後期）に分割され、それぞれ別個に単位認定される。（表2参照）
- 4) 外国語Ⅱは、外国語Ⅰの4単位（半期制にあつては、Ⅰ-1の2単位、およびⅠ-2の2単位、計4単位）を修得済みでなければ履修できない。
- 5) 前期のⅡA-1の2単位ないしⅡB-1の1単位を修得済みでなければ、後期のⅡA-2ないしⅡB-2は履修できない。
- 6) その他、履修方法の詳細については、上記シ)～ト)を参照のこと

ノ) 外国語Ⅱの再履修のフローチャート

上記のト)を参照のこと。

## 2.3.各語系の履修方法（平成29年度） ドイツ語の履修方法

### 平成29年度開講科目

表1：ドイツ語Ⅰ

	前期	後期
火	ドイツ語Ⅰ-1a 神 ドイツ語Ⅰ-1b 鈴木（将） ドイツ語Ⅰ-1c 杉浦	ドイツ語Ⅰ-2a 神 ドイツ語Ⅰ-2b 鈴木（将） ドイツ語Ⅰ-2c 杉浦
木	ドイツ語Ⅰ-1a 副島 ドイツ語Ⅰ-1b 佐藤（和） ドイツ語Ⅰ-1c 梅津	ドイツ語Ⅰ-2a 副島 ドイツ語Ⅰ-2b 佐藤（和） ドイツ語Ⅰ-2c 梅津

表2：ドイツ語Ⅱ

	前期	後期
火	ドイツ語ⅡA-1a 杉浦 ドイツ語ⅡA-1b 鈴木（将） ドイツ語ⅡB-1a 副島 ドイツ語ⅡB-1b 神	ドイツ語ⅡA-2a 杉浦 ドイツ語ⅡA-2b 鈴木（将） ドイツ語ⅡB-2a 副島 ドイツ語ⅡB-2b 神
木	ドイツ語ⅡA-1a 副島 ドイツ語ⅡA-1b 梅津 ドイツ語ⅡB-1c 佐藤（和）	ドイツ語ⅡA-2a 副島 ドイツ語ⅡA-2b 梅津 ドイツ語ⅡB-2c 佐藤（和）

### ドイツ語Ⅰの履修方法

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法」に加え、次に注意してください。

#### a) クラス編成

I-1、I-2とも3クラス編成（a、b、c）である。履修者は前期、後期とも同一のクラスを履修すること。なお、クラス所属は学生番号により均等割りとし、初回授業より前に掲示等により発表する。

#### b) 合格および成績評価の基準

ドイツ語Ⅰはドイツ語Ⅱの履修に必要な基礎の修得をもって合格とする。

ドイツ語の基礎的な文法・基本語彙を習得していること。

平易な文章を読み書きできること。

平易な発話を聞き取り、話せること。

なお、「秀、優、良、可」の基準については、各教員が別途指示する。

c) 再履修者のクラス所属

- 1) 再履修者のクラス所属については、前年度のクラス所属にかかわらずクラスを選択してよい(クラス定員管理のため制限を加えることもある)。
- 2) 他言語からの変更を認められた者のクラス所属も上記 1) に準ずる。

d) 半期制への移行措置(平成 24 年度以前入学生)

平成 24 年度以前入学生がドイツ語 I を(再)履修する場合、半期制導入後の I-1(前期)および I-2(後期)を履修すること。その場合、クラス所属については上記 c) に準ずるが、前期、後期とも同一クラスを履修すること。

### ドイツ語 II の履修方法

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語 II の履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語 II の再履修方法」に加え、次に注意してください。

e) 履修コースと所属クラスの決定(再履修者を含む)

- 1) ドイツ語 II A は、半期週 2 回の授業に前後期出席し前後期 2 単位ずつ計 4 単位を修得しようとする者のコースである。ドイツ語 II B は、半期週 1 回の授業に前後期出席し前後期 1 単位ずつ計 2 単位を修得しようとする者のコースである。
- 2) 履修者は、前期、後期とも同一コース、同一クラスを履修すること。
- 3) 履修希望者は、4 月初回のオリエンテーションに参加し、履修コースと所属クラスを決定し、次回から正式に出席すること。また、オリエンテーションを欠席した場合、希望のコース、クラスを履修できない可能性があるため、必ず出席すること。

f) 合格および成績評価の基準

ドイツ語 II は中級程度のドイツ語の修得をもって合格とし、「秀、優、良、可」の基準については、各教員が授業の目的および内容に沿って設定し別途指示する。

g) 半期制への移行措置(平成 24 年度以前入学生)

平成 24 年度以前入学生がドイツ語 II を(再)履修する場合、半期制導入後の II A-1 / II A-2 または II B-1 / II B-2 を履修すること。その場合、コースの選択およびクラス所属については上記 e) に準ずるが、前期、後期とも同一コース、同一クラスを履修すること。

## フランス語の履修方法

### 平成29年度開講科目

表1：フランス語Ⅰ

	前期		後期	
火	フランス語Ⅰ-1a	尾形	フランス語Ⅰ-2a	尾形
	フランス語Ⅰ-1b	小澤	フランス語Ⅰ-2b	小澤
	フランス語Ⅰ-1c	村山	フランス語Ⅰ-2c	村山
	フランス語Ⅰ-1d	ヤウヤウイ	フランス語Ⅰ-2d	ヤウヤウイ
木	フランス語Ⅰ-1a	デュボワ	フランス語Ⅰ-2a	デュボワ
	フランス語Ⅰ-1b	江口	フランス語Ⅰ-2b	江口
	フランス語Ⅰ-1c	尾形	フランス語Ⅰ-2c	尾形
	フランス語Ⅰ-1d	高橋	フランス語Ⅰ-2d	高橋

表2：フランス語Ⅱ

	前期		後期	
火	フランス語ⅡA-1a	尾形	フランス語ⅡA-2a	尾形
	フランス語ⅡA-1b	ヤウヤウイ	フランス語ⅡA-2b	ヤウヤウイ
	フランス語ⅡA-1c	小澤	フランス語ⅡA-2c	小澤
	フランス語ⅡB-1a	村山	フランス語ⅡB-2a	村山
木	フランス語ⅡA-1a	デュボワ	フランス語ⅡA-2a	デュボワ
	フランス語ⅡA-1b	高橋	フランス語ⅡA-2b	高橋
	フランス語ⅡA-1c	江口	フランス語ⅡA-2c	江口
	フランス語ⅡB-1b	尾形	フランス語ⅡB-2b	尾形

### フランス語Ⅰの履修方法

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法」に加え、次に注意してください。

#### a) クラス編成

I-1、I-2とも4クラス編成(a、b、c、d)である。履修者は前期、後期とも同一のクラスを履修すること。なお、クラス所属は学生番号により均等割りとし、初回授業より前に掲示等により発表する。

#### b) 合格および成績評価の基準

フランス語Ⅰはフランス語Ⅱの履修に必要な基礎の修得をもって合格とする。

①発音の規則を身につけ、基本的な発話、聞き取りができること。

②基本文法を理解し、辞書を用いて平易な文章の読み書きができること。

③特に動詞の活用および時制については習熟すること。

なお、「秀、優、良、可」の基準については、各教員が別途指示する。

c) 再履修者のクラス所属

1) 再履修者のクラス所属については、前年度のクラス所属にかかわらずクラスを選択してよい(クラス定員管理のため制限を加えることもある)。

2) 他言語からの変更を認められた者のクラス所属も上記1)に準ずる。

d) 半期制への移行措置(平成24年度以前入学生)

平成24年度以前入学生がフランス語Ⅰを(再)履修する場合、半期制導入後のⅠ-1(前期)およびⅠ-2(後期)を履修すること。その場合、クラス所属については上記c)に準ずるが、前期、後期とも同一クラスを履修すること。

### フランス語Ⅱの履修方法

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法」に加え、次に注意してください。

e) 履修コースと所属クラスの決定(再履修者を含む)

履修コースおよび所属クラスの決定は、4月の最初の授業で行われる合同オリエンテーション(その年に開講されるすべての授業の紹介)で行われる。定員を超えた場合、抽選で決定する場合もあるので、必ず出席すること。オリエンテーションを欠席した者は、希望のコース、クラスを履修できない可能性がある。

f) 合格および成績評価の基準

フランス語Ⅱは中級程度のフランス語の修得をもって合格とし、「秀、優、良、可」の基準については、各教員が授業の目的および内容に沿って設定し別途指示する。

g) 半期制への移行措置(平成24年度以前入学生)

平成24年度以前入学者がフランス語Ⅱを(再)履修する場合、半期制導入後のⅡA-1/ⅡA-2またはⅡB-1/ⅡB-2を履修すること。その場合、コースの選択およびクラス所属については上記e)に準ずるが、前期、後期とも同一コース、同一クラスを履修すること。

## 中国語の履修方法

### 平成29年度開講科目

#### 中国語 I

	前期	後期
火	中国語 I - 1a 嘉瀬	中国語 I - 2a 嘉瀬
	中国語 I - 1b 章	中国語 I - 2b 章
	中国語 I - 1c 谷内	中国語 I - 2c 谷内
	中国語 I - 1d 霜鳥	中国語 I - 2d 霜鳥
木	中国語 I - 1a 章	中国語 I - 2a 章
	中国語 I - 1b 嘉瀬	中国語 I - 2b 嘉瀬
	中国語 I - 1c 斐	中国語 I - 2c 斐
	中国語 I - 1d 楊	中国語 I - 2d 楊

#### 中国語 II

	前期	後期
火	中国語 II A - 1a 嘉瀬	中国語 II A - 2a 嘉瀬
	中国語 II A - 1b 章	中国語 II A - 2b 章
	中国語 II A - 1c 谷内	中国語 II A - 2c 谷内
	中国語 II A - 1d 霜鳥	中国語 II A - 2d 霜鳥
	中国語 II B - 1 胡	中国語 II B - 2 胡
木	中国語 II A - 1a 章	中国語 II A - 2a 章
	中国語 II A - 1b 嘉瀬	中国語 II A - 2b 嘉瀬
	中国語 II A - 1c 斐	中国語 II A - 2c 斐
	中国語 II A - 1d 楊	中国語 II A - 2d 楊

#### 中国語 I の履修方法

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語 I の履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語 I の再履修方法」に加え、次の点に注意してください。

##### a) クラス編成

I - 1、I - 2 ともに4クラス編成 (a、b、c、d) である。履修者は前期、後期と同一のクラスを履修すること。なお、所属クラスは学生番号により均等に割り振り、初回授業より前に掲示等により発表する。

##### b) 合格および成績評価の基準

中国語 I は、中国語 II の履修に必要な能力が習得されていることをもって合格とする。合格の基準は、中国語の基礎および初級の文法・語彙に習熟し、四技能(聞く・話す・読む・書く)の能力を十分に発揮できることとする。

む・書く)を習得しているか否かによる。なお、成績評価の基準については、各教員が別途指示する。

c) 再履修者の所属クラス

- 1) 再履修者の所属クラスについては、前年度の所属クラスにかかわらずクラスを選択してよい(クラスの定員管理のために制限を加えることもある)。ただし、前期、後期とも同一クラスを履修すること。
- 2) 他言語からの変更を認められた者の所属クラスも上記 1) に準ずる。

d) 半期制への移行措置(平成 24 年度以前入学生)

平成 24 年度以前入学生が中国語Ⅰを(再)履修する場合、半期制導入後のⅠ-1(前期)およびⅠ-2(後期)を履修すること。その場合、所属クラスについては上記 c) に準ずる。

### 中国語Ⅱの履修方法

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法」に加え、次に注意してください。

e) 履修コースと所属クラスの決定(再履修者を含む)

中国語Ⅱの履修を希望する者は、4月の授業第1週(11日・13日)に行われるオリエンテーションに参加し、そこで配布される「中国語Ⅱ履修希望調査票」に履修を希望するクラスを第5希望まで記入の上、4月13日13時までに中国語の教員に提出すること。この調査票に基づいて抽選を行ない所属クラスを決定し、掲示にて発表する。前期、後期とも同一コース、同一クラスを履修すること。なお、調査票の未提出者は、希望クラスでの履修が認められないことがある。

f) 合格および成績評価の基準

中国語Ⅱは、中級程度の中国語能力の習得をもって合格とする。成績評価の基準については、各教員が授業の目的および内容に沿って設定し、別途指示する。

g) 半期制への移行措置(平成 24 年度以前入学生)

平成 24 年度以前入学生が中国語Ⅱを(再)履修する場合、半期制導入後のⅡA-1/ⅡA-2またはⅡB-1/ⅡB-2を履修すること。その場合、コースの選択および所属クラスについては上記 e) に準ずる。

## スペイン語の履修方法

### 平成29年度開講科目

表1：スペイン語Ⅰ

	前期	後期
火	I-1 パイチャゼ	I-2 石井
木	I-1 石井	I-2 パイチャゼ

表2：スペイン語Ⅱ

	前期	後期
火	II A-1 パイチャゼ II B-1 石井	II A-2 石井
木	II A-1 石井	II A-2 パイチャゼ II B-2 石井

#### 1. スペイン語Ⅰの履修方法

スペイン語Ⅰ-1、Ⅰ-2はそれぞれ1クラスだけ開講します。

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法」をよく読んでください。

前期科目のスペイン語Ⅰ-1の単位を取得しないと、後期科目のスペイン語Ⅰ-2を履修できないので、注意してください。

#### 2. スペイン語Ⅱの履修方法

スペイン語ⅡA-1、ⅡA-2、ⅡB-1、ⅡB-2はそれぞれ1クラスだけ開講します。

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法」をよく読んでください。なお、本年度は、スペイン語ⅡB-1は前期、スペイン語ⅡB-2は後期の開講となります。

履修者はAコース（ⅡA-1およびⅡA-2：火、木の週2回）またはBコース（ⅡB-1およびⅡB-2：木で週1回）のいずれかを選択してください。

前期科目のスペイン語ⅡA-1あるいはⅡB-1の単位を取得しないと、後期科目のスペイン語ⅡA-2あるいはⅡB-2を履修できないので、注意してください。

## ロシア語の履修方法

### 平成29年度開講科目

表1：ロシア語Ⅰ

	前期	後期
火	I-1 スベヴァコフスキー	I-2 スベヴァコフスキー
木	I-1 山田	I-2 山田

表2：ロシア語Ⅱ

	前期	後期
火	ⅡA-1 スベヴァコフスキー ⅡB-1 山田	ⅡA-2 スベヴァコフスキー ⅡB-2 山田
木	ⅡA-1 山田	ⅡA-2 山田

#### 1. ロシア語Ⅰの履修方法

ロシア語Ⅰ-1、Ⅰ-2はそれぞれ1クラスだけ開講します。

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法」をよく読んでください。

前期科目のロシア語Ⅰ-1の単位を取得しないと、後期科目のロシア語Ⅰ-2を履修できないので、注意してください。

#### 2. ロシア語Ⅱの履修方法

ロシア語ⅡA-1、ⅡA-2、ⅡB-1、ⅡB-2はそれぞれ1クラスだけ開講します。

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法」をよく読んでください。

履修者はAコース（ⅡA-1およびⅡA-2；火、木の週2回）またはBコース（ⅡB-1およびⅡB-2；火で週1回）のいずれかを選択してください。

前期科目のロシア語ⅡA-1あるいはⅡB-1の単位を取得しないと、後期科目のロシア語ⅡA-2あるいはⅡB-2を履修できないので、注意してください。

## 朝鮮語の履修方法

### 平成29年度開講科目

表1：朝鮮語Ⅰ

	前期	後期
火	I-1 李賢峻	I-2 李賢峻
木	I-1 韓然善	I-2 韓然善

表2：朝鮮語Ⅱ

	前期	後期
火	Ⅱ A-1 李賢峻	Ⅱ A-2 李賢峻
木	Ⅱ A-1 韓然善 Ⅱ B-1 李賢峻	Ⅱ A-2 韓然善 Ⅱ B-2 李賢峻

#### 1. 朝鮮語Ⅰの履修方法

朝鮮語Ⅰ-1、Ⅰ-2はそれぞれ1クラスずつ開講しています。

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法」をよく読んでください。

前期科目の朝鮮語Ⅰ-1の単位を取得しないと、後期科目の朝鮮語Ⅰ-2を履修できないので、注意してください。

#### 2. 朝鮮語Ⅱの履修方法

朝鮮語Ⅱ A-1、Ⅱ A-2、Ⅱ B-1、Ⅱ B-2はそれぞれ1クラスずつ開講しています。

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法」をよく読んでください。

履修者はAコース（Ⅱ A-1およびⅡ A-2：火、木の週2回）またはBコース（Ⅱ B-1およびⅡ B-2：木で週1回）のいずれかを選択してください。

前期科目の朝鮮語Ⅱ A-1あるいはⅡ B-1の単位を取得しないと、後期科目の朝鮮語Ⅱ A-2あるいはⅡ B-2を履修できないので、注意してください

平成 29 年度入学生英語の履修について

※詳細は、次ページ以降の説明を参考にしてください。

配当 年次	科目	平成 29 年度		平成 30 年度	
		前期	後期	前期	後期
I	英語 I A	ブ レ イ ス メ ン ト テ ス ト を 受 験	ア <sup>o</sup> リスニングの結果に基づき、 リス分け (4/7 発表) 合格 不合格	履修登録上限内で空きが 履修可能 合格 不合格	空きクラスを履修
	英語 I B	ア <sup>o</sup> リスニングの結果に基づき、 リス分け (4/7 発表) 合格 不合格	履修登録上限内で空きが 履修可能 合格 不合格	空きクラスを履修	
	英語 I C	ア <sup>o</sup> リスニングの結果に基づき、 リス分け (4/7 発表) 合格 不合格	ア <sup>o</sup> リスニングの結果に基づき、 リス分け (4/7 発表) 合格 不合格	前期の再履修クラスを履修	
II	英語 I D	ア <sup>o</sup> リスニングの結果 TOEIC IP リス分け※1 合格 不合格	ア <sup>o</sup> リスニングの結果 TOEIC IP リス分け※1 合格 不合格	英語 I D 再履修クラスを履修 ※2 TOEIC IP テストは、英語 II A2/B2 と同時受験可能	
	英語 II A1/B1	ア <sup>o</sup> リスニングの結果 TOEIC IP リス分け※1 合格 不合格	ア <sup>o</sup> リスニングの結果 TOEIC IP リス分け※1 合格 不合格	前年度の英語 IA 及び IB の成績に基づきリス分け	
II	英語 II A2/B2	ア <sup>o</sup> リスニングの結果 TOEIC IP リス分け※1 合格 不合格	ア <sup>o</sup> リスニングの結果 TOEIC IP リス分け※1 合格 不合格	前年度 TOEIC IP リス分け結果 (※1・※2を指す)	【530 点以上】 上級リス (TOEIC IP 受験不要) 【450～525 点】 通常リス (TOEIC IP 受験必要) 【445 点以下】 通常リス (英語 I D 不合格者) ※2
	英語 II A3				各自の希望のクラスを選択。定員を超える場合は抽選となる。 ※英語 B コース選択者は履修不要。
	英語 II A4				

平成 20～28 年度入学生の英語の履修について

※詳細は、次ページ以降の説明を参考にしてください。

配当年次	科目	平成 28 年度以前の履修状況	平成 29 年度
I	英語 I A/I B	単位修得済	各自のレベルに合うクラスを選択。定員を超える場合は抽選となる。
		未修得 (過去に履修したが不可)	
		未修得 (一度も履修していない)	
	英語 I C	単位修得済	再履修クラス (E162C) を履修
		未修得 (過去に履修したが不可)	各自のレベルに合うクラスを選択。定員を超える場合は抽選となる。
		未修得 (一度も履修していない)	
英語 I D	単位修得済	再履修クラスを履修	
	未修得 (過去に履修し、TOEIC を受験したが、不可)	各自の希望のクラスを選択。定員を超える場合は抽選となる。	
	未修得 (過去に履修し、TOEIC を未受験で、不可)		
II	英語 II A1/B1	単位修得済	各自のレベルに合うクラスを選択。定員を超える場合は抽選となる。
		未修得 (過去に履修したが不可)	
		未修得 (一度も履修していない)	
	英語 II A2/B2	単位修得済	再履修クラスを履修
		未修得 (過去に履修し、TOEIC を受験したが、不可)	各自の希望のクラスを選択。定員を超える場合は抽選となる。
		未修得 (過去に履修し、TOEIC を未受験で、不可)	
英語 II A3/A4	単位修得済 or 英語の B コースを選択	各自の希望のクラスを選択。定員を超える場合は抽選となる。	
	未修得 (過去に履修したが不可)		
	未修得 (一度も履修していない)		

注意——学則の一部改正にともない、平成28年度入学生より、とくに英語 I Dおよび英語 II A2/B2について、いくつかの変更点がありますので注意してください。

\*クラス名のうち、Eで始まる数字と記号は、英語のクラス別を表します。Eに続く1または2は履修基準年次で、それぞれ1年次、2年次配当クラスであることを表します。残りの2桁の数字がクラスを表します。その後の記号と数字は科目を表します。

\*英語クラスのうち、学生の自由選択によって決定されるものは、英語 II A3/A4 クラス及び過年度生/再履修のみです。それ以外のクラスについては、平成 29 年度入学生はプレイスメントテストにより、それ以外の学生は英語(I A, I B 等)の成績により決定されます。

\*平成 28 年度入学生より、英語 I D と英語 II A2/B2 の単位を取得できるまで、TOEIC IP テストを最大3回まで受験することが想定されます。

平成29年度の英語 I のクラスは、次表のとおりです。

#### 昼間 1 年生

英語 IA (Reading : 前期)	
E101A Clankie【準発展】	E109A 鈴木良【準標準】
E102A 佐々木【発展】	E110A Clankie【基礎】
E103A Thurman【発展】	E111A 杉村【基礎】
E104A 山本久【準発展】	E112A 杉村【準発展】
E105A Thurman【発展】	E113A Kemp【標準】
E106A Blankley【標準】	E114A Kudo【標準】
E107A Kemp【標準】	E115A 齊藤京【準標準】
E108A 山本久【準発展】	E116A Brown【準標準】
E117A 羽村 (後期 : 再履修)	

英語 IB (Communication : 前期)	
E121B 井上【標準】	E129B Murphy【基礎】
E122B 川内【標準】	E130B Kemp【準発展】
E123B Kemp【標準】	E131B Kudo【準標準】
E124B Munby【準発展】	E132B Murphy【準発展】
E125B 小林敏【標準】	E133B Clankie【発展】
E126B Blankley【準発展】	E134B 中津川【準標準】
E127B Munby【準標準】	E135B Murphy【発展】
E128B Murphy【基礎】	E136B 中津川【発展】
	E138B 井上【標準】
E137B 川内 (後期 : 再履修)	

英語 IC (後期)	
E141C Clankie【標準】C	E152C Murphy【準発展】C
E143C 大島【準標準】R	E153C Murphy【準発展】R
E144C 川内【発展】C	E154C Kemp【発展】R
E145C Kemp【基礎】C	E155C Murphy【準発展】C
E146C 小林敏【標準】R	E156C Kemp【準発展】R
E147C Blankley【準標準】C	E157C Murphy【発展】R
E148C Munby【基礎】C	E158C 山本久【標準】R
E149C Blankley【準標準】R	E159C 中津川【発展】C
E150C Munby【標準】C	E160C 齋藤京【基礎】R
E151C 鈴木良【準発展】R	E161C Brown【準標準】C
E162C 川内 (前期:再履修)	

C : Communication

R : Reading

英語 ID (e-Learning)	
前期	後期
E171D 大島	E174D 大島
E172D 大島	E175D 大島
E173D 中津川	E176D 平田
	E177D 平田
E179D 大島 (再履修) *2016 年度入学生優先	E180D Holst (再履修)

### (1) 「英語 I」について

「英語 I」は、A、B、C、D (各1単位) に分かれており、外国語科目として英語を選択した場合には、それぞれから1クラス1単位ずつ、合計4クラス4単位を修得しなければなりません。平成 27 年度以前入学生は、『(2)「英語 I」の再履修について』を参照してください。

### 【平成 29 年度入学生】

- ① 英語 I Aは Reading クラス、英語 I Bは Oral Communication クラス、英語 I Cは弱点強化クラス、英語 I Dは e-Learning によるセルフ・アクセス・スタディです。
- ② 「英語 I A」、「英語 I B」、「英語 I C」には、基礎から発展までの5つのレベルがあり、4月5日(水)のプレイスメントテストの結果に基づき、クラスを決定します。履修クラスの発表は、4月8日(金)の朝までに学内掲示等にてお知らせします。なお、履修登録は言語センターで行いますので、正しいクラスが登録されているかを確認してください。
- ③ 「英語 I D」は、言語センターLL 教室と情報処理センター実習室で学習する e-Learning によるセルフ・アクセス・スタディです。各自の学習履歴はすべてコンピュータに記録されます。「英語 I D」は、4月5日のプレイスメントテストの結果に基づき、上位 50%を前期クラス、下位 50%を後期クラスに振り分けます。後期クラスになった場合は、前期期間中に本学が用意するオンラインの TOEIC 準備教材にアクセスし、弱点強化の学習を進めておかなければいけません(必須)。詳細は担当教員が指示します。  
「英語 I D」は、本学で実施される TOEIC IP テストのスコアおよび授業の平常点で評価されます。TOEIC のスコア基準は、以下の通りです。

TOEIC のスコア	
450 点未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語 I D の単位は認められない。</li> <li>・翌年度の前期に英語 I D と英語 II A2/B2 (共に通常クラス) を同時履修し、TOEIC IP テストを受験しなくてはならない。その際の TOEIC IP テストのスコアは、両科目に適用される。</li> </ul>
450～525 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEIC IP テストのスコアに加え、平常点においても所定の基準を満たした場合は、英語 I D の単位を取得する。</li> <li>・翌年度の英語 II A2/B2 は通常クラスに所属し、英語 II A2/B2 の単位取得のために TOEIC IP テストを受験する必要がある。</li> </ul>
530 点以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEIC IP テストのスコアに加え、平常点においても所定の基準を満たした場合は、英語 I D の単位を取得する。</li> <li>・翌年度の英語 II A2/B2 は上級クラスに進み、この場合は英語 II A2/B2 の単位取得のために、TOEIC IP テストを受験する必要はない。</li> <li>・基準を 530 点以上としているのは、1 年次にそれだけのスコアを取得できていれば、2 年次でも英語 II A2/B2 の基準である 500 点以上を確実に取得できると思われるからである。</li> </ul>

※平成 29 年度の TOEIC IP テストは、平成 29 年 7 月 29 日 (土)、平成 30 年 1 月 27 日 (土) に実施します。詳細は、後日掲示します。

④外部試験による単位認定 (大学以外の教育施設等における学修の単位認定)

英語の外部試験 (実用英語技能検定、TOEFL、TOEIC) で一定以上の成績をおさめて申請すると、本学の英語科目の単位が認定されます。申請にあたっては「Ⅲ-4 大学以外の教育施設等における学修の単位認定」を参照の上、教務課学部教務係までお越し下さい。

(2) 英語 I の再履修

【平成 29 年度入学生】

- ①「英語 I A」および「英語 I B」については、前期で単位を修得できなかった場合、履修登録の上限 40 単位を超えない範囲内で、後期開講の「E117A」と「E137B」を再履修できます。今年度中に単位を取得できなかった場合は、翌年度の前期に開講されるクラスの中から選択履修することになります。
- ②「英語 I D」の単位を修得できていない場合は、TOEIC IP テストの受験料と受験回数を節約すべく、再履修クラスの「E179D」を、英語 II A2/B2 の通常クラスとともに同時履修してください。TOEIC IP テストを 3 回受験しても単位を取得できなかった場合は、特別再履修クラスを履修することになります。

## 【平成 20 年～28 年度入学生】

### ① 英語 IA、IB、IC の再履修について

「英語 IA」、「英語 IB」については、前期開講の通常クラスを履修することができます。定員を超える場合は、言語センターがクラス分けを行い、履修登録をします。履修の辞退、やむを得ない理由(学科科目の重複等)によるクラス変更に関しては言語センターにお尋ねください。「英語 IC」については、前期開講の「E162C」を履修してください。

### ② 「英語 ID」の再履修について

英語 ID の試験として、本学で実施した TOEIC IP テストを受験したものの、単位を落とした者は、「前期開講の E179D」を履修してください。TOEIC IP テストを未受験の者は、通常クラスに所属します。なお、所属クラスの決定は、言語センターが行います。やむを得ない理由(学科科目の重複等)によるクラスの変更、履修の辞退については、言語センターまでお尋ねください。

※「英語 ID」の単位認定のためには、平成 29 年 7 月 29 日(土)、平成 30 年 1 月 27 日(土)実施の TOEIC IP テストにおいて、450 点以上取得する必要があります。

※再履修クラスにおいては、授業内のテストにより成績評価・単位認定を行います。

(3)「英語Ⅱ」について

平成29年度の英語クラス（2年次）は次表のとおりです。

昼間2年生

英語 IIA1/B1	
前期（月1）	後期（月1）
E201A1/B1 井上【準発展】C E202A1/B1 Clankie【発展】R E203A1/B1 大島【準発展】C E204A1/B1 Kemp【発展】R	E209A1/B1 井上【標準】R E210A1/B1 Clankie【標準】R E211A1/B1 大島【準標準】C E212A1/B1 Kemp【基礎】C
前期（金2）	後期（金2）
E205A1/B1 山本久【準発展】R E206A1/B1 中津川【発展】C E207A1/B1 齊藤京【準発展】R E208A1/B1 Brown【標準】C	E213A1/B1 中津川【標準】C E214A1/B1 杉村【準標準】R E215A1/B1 齊藤京【準標準】R E216A1/B1 Brown【基礎】R

C : Communication

R : Reading

英語 IIA2/B2 (e-Learning)	
前期	後期
E221A2/B2 平田 E222A2/B2 平田 E223A2/B2 平田	E224A2/B2 平田【TOEFL】 E225A2/B2 平田 E226A2/B2 小林敏【上級】 E227A2/B2 Caluianu【ビジネス英語】
E228A2/B2 平田（再履修）	E229A2/B2 平田（再履修）

英語 IIA3	
前期（水1）	後期（水3）
E241A3 井上 E242A3 佐々木	E243A3 山本久 E244A3 鈴木良 E245A3 Murphy

英語 IIA4	
前期（水3）	後期（水1）
E261A4 佐々木 E262A4 鈴木良 E263A4 Murphy	E264A4 Caluianu E265A4 Clankie

**【共通】**

外国語Ⅱは、選択する外国語のうち一方をAコース（ⅡA）として4単位、他方をBコース（ⅡB）として2単位、計6単位を修得する必要があります。誤った履修方法をする、卒業要件を満たさず、卒業が延期されますから、注意してください。

- ① 英語ⅡAコースを選択する場合、「英語ⅡA1/B1」、「英語ⅡA2/B2」、「英語ⅡA3」および「英語ⅡA4」から、それぞれ1クラス1単位ずつ（計4単位）及び、英語以外の外国語のⅡBコース（2単位）を修得する必要があります。
- ② 英語ⅡBコースを選択した場合、「英語ⅡA1/B1」および「英語ⅡA2/B2」から、それぞれ1クラス1単位ずつ（計2単位）及び、英語以外の外国語のⅡAコース（4単位）を、それぞれ修得しなければなりません。
- ③ 「英語ⅡA1/B1」及び「英語ⅡA2/B2」のクラスは、平成28年度入学生の「英語ⅠA」及び「英語ⅠB」などのスコアにより決定し、言語センターで履修登録を行います。また、クラス分けの結果は、掲示で発表します。ただし、平成28年度入学生の「英語ⅡA2/B2」のクラス分けについては、⑤の「平成28年度入学生の英語ⅡA2/B2履修について」に記載の通りとなります。  
「英語ⅡA3」及び「英語ⅡA4」のクラスは、抽選により決定します。履修希望をWEBから登録してください。登録場所は、『大学HP→学生生活・就職→学生への連絡事項』内となります。登録期間は、4月1日（土）～4日（火）、クラス分け結果は、4月6日（木）までに掲示等にて発表します。
- ④ 「英語ⅡA1/B1」、「英語ⅡA3」および「英語ⅡA4」は担当教員による対面授業です。
- ⑤ 「英語ⅡA2/B2」は、言語センターLL教室と情報処理センター実習室で学習するe-Learningによるセルフ・アクセス・スタディで、各自の学習履歴はすべてコンピュータに記録されます。また、「英語ⅡA2/B2」は、本学で実施されるTOEIC IPテストのスコア及び授業の平常点で評価されます。

**【平成28年度入学生の英語ⅡA2/B2履修について】**

前年度の英語ⅠDのTOEICのスコア	英語ⅡA2/B2	英語ⅡA2/B2でのTOEIC IPテストの受験について
530点以上	上級クラス	英語ⅡA2/B2の単位を取得するために、TOEIC IPテストを受験する必要はない。 ※受験希望者は、所定の期間内に申し出ること
450点～525点	通常クラス	英語ⅡA2/B2の単位を取得するために、TOEIC IPテストを受験し500点以上を取得しなければならない。
450点以下 ※英語ⅠDと英語ⅡA2/B2を同時履修することとなる	通常クラス	英語ⅠDと英語ⅡA2/B2の単位取得のために、TOEIC IPテストを受験しなければならない。 ※500点以上の場合、英語ⅠDと英語ⅡA2/B2の単位を取得 ※450点以上、500点未満の場合、英語ⅠDの単位を取得

- ⑥ 履修の辞退、やむを得ない理由(学科科目の重複等)によるクラス変更に関しては言語センターにお尋ねください。

※平成29年度のTOEIC IPテストは、平成29年7月29日(土)、平成30年1月27日(土)に実施します。

#### (4) 英語Ⅱの再履修

##### ◆英語ⅡA1/B1、英語ⅡA3、英語ⅡA4の再履修について

###### 【平成20～28年度入学生】

平成20年度以降入学生で、英語ⅡA1/B1、英語ⅡA3、英語ⅡA4を再履修する必要がある者は、上記③にしたがって、未修得の科目を履修してください。なお、前期に単位を修得できなかった場合、履修登録の上限40単位を超えない範囲内で、空定員のあるクラスへ後期に再度履修することができます。手続き方法は、後期開始前に掲示でお知らせします。

##### ◆英語ⅡA2/B2の再履修について

###### 【平成28年度入学生】

上級クラスの再履修	上級クラスを履修すること（履修登録の上限を超えない範囲で、後期もしくは翌年度以降に履修すること）
通常クラスの再履修	大学で実施するTOEIC IPテストを、英語ⅠDの受験からカウントして、最大3回まで受験する必要がある。3度目のTOEIC IPテストで、500点以上のスコアを取得できなかった学生は、翌年度以降に再履修クラスを履修すること。

###### 【平成27年度以前入学生】

前年度までに英語ⅡA2/B2を履修し、かつ、英語ⅡA2/B2の期末試験として、TOEIC IP試験を受験し、成績が不可だった者は、再履修クラス「E228A2/B2」または「E229A2/B2」クラスを履修できます。

前年度までに英語ⅡA2/B2を履修していない、もしくは英語ⅡA2/B2の期末試験として、TOEIC IP試験を受験したことがない学生は、通常クラスを履修しなければなりません。※上記に係るクラス分けは、言語センターが前年度までのTOEICの受験状況及び英語の成績を元に行います。

#### (5) 外部試験による単位認定（大学以外の教育施設等における学修の単位認定）

英語の外部試験（実用英語技能検定、TOEFL、TOEIC）で一定以上の成績をおさめて申請すると、本学の英語科目の単位が認定されます。申請にあたっては「Ⅲ-4 大学以外の教育施設等における学修の単位認定」を参照の上、教務課学部教務係までお越し下さい。